


Nikon

デジタルカメラ

COOLPIX P900



使用説明書

はじめに	➡ ii
目次	➡ xvii
各部の名称	➡ 1
撮影の準備	➡ 9
撮影と再生の基本操作	➡ 16
いろいろな撮影	➡ 26
MENU（メニュー）ボタンで設定できる機能	➡ 49
位置情報機能を使う	➡ 59
Wi-Fi（無線LAN）を使う	➡ 60
テレビ、プリンター、パソコンとの接続	➡ 61
付録、索引	➡  1

はじめに

はじめにお読みください

お使いになる前に、本製品の使用方法や「安全上のご注意」(□□vi~xii)、
「<重要>位置情報機能(GPS/GLONASS)についてのご注意」(□□xiv)お
よび「Wi-Fi(無線LAN)機能について」(□□xv)をよくお読みになり、正
しくお使いください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ら
れるところに保管してください。

- すぐにカメラをお使いになりたいときは、「撮影の準備」(□□9) および
「撮影と再生の基本操作」(□□16)をご覧ください。

「活用ガイド」のダウンロードについて

このカメラのさらに詳しい説明書「活用ガイド」(PDF形式)をさまざまな
言語で用意しています。当社のウェブサイトからダウンロードして、本書と
併せてご覧ください。

<http://downloadcenter.nikonimglib.com>

- 活用ガイドをご覧いただくには、Adobe Readerが必要です。Adobe
Readerは、Adobeのウェブサイトからダウンロードできます。

無償ソフトウェアのダウンロードについて


撮影した画像や動画のパソコンへの取り込み、閲覧ができるソフトウェア
ViewNX-i、およびカメラで撮影した画像の調整ができるソフトウェア
Capture NX-Dを、下記のホームページからダウンロードできます。

ViewNX-i : <http://downloadcenter.nikonimglib.com>

Capture NX-D : <http://downloadcenter.nikonimglib.com>

本書の記載について

- 本文中のマークについて

マーク	意味
<input checked="" type="checkbox"/>	カメラを使用する前に注意していただきたいことや守っていただきたいことを記載しています。
<input checked="" type="checkbox"/>	カメラを使用する前に知っておいていただきたいことを記載しています。
	関連情報が記載されているページです。☆は「付録、索引」のページです。

- SD/SDHC/SDXCメモリーカードを「メモリーカード」と表記することがあります。
- ご購入時のカメラの設定を「初期設定」と表記しています。
- モニター画面に表示されるメニュー項目や、パソコンに表示されるボタン名、メッセージなどは、[] で囲って表記しています。
- 本書では、モニター画面上の表示をわかりやすく説明するために、被写体の表示を省略している場合があります。

箱の中身を確認する

万一、不足のものがありましたら、ご購入店にご連絡ください。



COOLPIX P900
カメラ本体



ストラップ



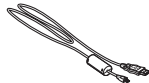
レンズキャップ
LC-67



Li-ionリチャージャブル
バッテリー EN-EL23



本体充電ACアダプター
EH-71PまたはEH-73P



USBケーブル
UC-E21

使用説明書

保証書

※ メモリーカードは付属していません。本書ではSD/SDHC/SDXCメモリーカードを「メモリーカード」と表記することがあります。

ご確認ください

●保証書について

この製品には「保証書」が付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客様へ直接お渡しすることになっております。必ず「ご購入年月日」と「ご購入店」が記入された保証書をお受け取りください。「保証書」をお受け取りにならないと、ご購入1年以内の保証修理が受けられないことになります。お受け取りにならなかった場合は、ただちにご購入店にご請求ください。

●大切な撮影を行う前には試し撮りを

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能することを事前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等）についての補償はご容赦願います。

●本製品を安心してご使用いただくために

本製品は、当社製のアクセサリ（電池、バッテリーチャージャー、ACアダプター、USBケーブル）に適合するように作られていますので、当社製品との組み合わせでお使いください。

- 専用Li-ionリチャージャブルバッテリーには、ニコン純正品を示すホログラムシールが貼られています。
- 模倣品のLi-ionリチャージャブルバッテリーをお使いになると、カメラの十分な性能が出せないことや、電池の異常な発熱や液もれ、破裂、発火などの原因となることがあります。
- 他社製品や模倣品と組み合わせると、事故、故障などが起こる可能性があります。その場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。



ホログラム
シール

●説明書について

- 説明書の一部または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
- 本文中の画面表示を含むイラストは、実際と異なる場合があります。
- 説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 製品の外観、仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
- 説明書が破損などで判読できなくなったときは、PDF ファイルを下記のウェブサイトからダウンロードできます。

<http://www.nikon-image.com/support/manual/>

ニコンサービス機関で新しい使用説明書を購入することもできます（有料）。

●著作権についてのご注意

あなたがカメラで撮影または録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使うことができません。なお、実演や興行、展示物の中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影や録音を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像や音楽は、著作権法の規定による範囲内でお使いになる以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

●カメラやメモリーカードを譲渡/廃棄するときのご注意

メモリーカード内のデータはカメラやパソコンで初期化または削除しただけでは、完全には削除されません。譲渡/廃棄した後に市販のデータ修復ソフトウェアなどを使ってデータが復元され、重要なデータが流出してしまう可能性があります。メモリーカード内のデータはおお客様の責任において管理してください。

メモリーカードを譲渡/廃棄する際は、市販のデータ削除専用ソフトウェアなどを使ってデータを完全に削除するか、初期化後に、[位置情報設定]の[位置情報記録機能]を[しない]にしてから、メモリーカードがいっぱいになるまで、空や地面などを撮影することをおすすめします。メモリーカードを物理的に破壊して廃棄するときは、周囲の状況やけがなどに充分ご注意ください。

メモリーカードに保存したログデータの扱いは、メモリーカード内の他のデータと同じです。メモリーカードに未保存の取得済みデータは、[ログ取得] → [ログ取得終了] → [ログ消去] で消去できます。

Wi-Fi設定は、Wi-Fi設定メニューの[設定の初期化]で消去してください。

●電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

安全上のご注意

お使いになる前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しい方法でお使いください。

この「安全上のご注意」は製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために重要な内容を記載しています。内容を理解してから本文をお読みいただき、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

表示と意味は以下のようになっています。



危険

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が高いと想定される内容を示しています。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容の種類を、以下の図記号で区分し、説明しています。

絵表示の例




△記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⊘記号は、禁止（してはいけないこと）の行為を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は、行為を強制すること（必ずすること）を告げるものです。図の中や近くに具体的な強制内容（左図の場合はプラグをコンセントから抜く）が描かれています。

 **警告** (カメラについて)



分解禁止

分解したり、修理や改造をしないこと
感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。



接触禁止

落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと

感電したり、破損部でケガをする原因となります。



すぐに修理依頼を

電池、電源を抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。



水かけ禁止

水につけたり、水をかけたり、雨にぬらさない
感電や発火などの事故や故障の原因になります。



電池を取る

熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、すみやかに電池を取り出すこと

そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。

電池を取り出す際、やけどに充分注意してください。



すぐに修理依頼を

電池を抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。



禁止

通電中のカメラに長時間直接触れない

使用中に温度が高くなる部分があり、低温やけどの原因になることがあります。



使用禁止

引火、爆発のおそれのある場所では使わない

プロパンガス、ガソリン、可燃性スプレーなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると爆発や火災の原因になります。



発光禁止

車の運転者等におむけてフラッシュを発光しないこと
事故の原因となります。



発光禁止

フラッシュを人の目に近づけて発光しない

視力障害の原因になります。

撮影時には、1 m 以上離れてください。

特に乳幼児の撮影には注意してください。



保管注意

幼児の口にはいる小さな付属品は、幼児の手の届く所に置かない

幼児の飲み込みの原因となります。

飲み込んだときは、ただちに医師にご相談ください。



保管注意

ストラップが首に巻きつかないようにする
特に幼児・児童の首にストラップをかけない
首に巻き付くと窒息の原因になります。



警告

指定の電源(電池、本体充電ACアダプター、ACアダプター、USBケーブル)を使う
指定以外のものを使うと、事故や故障の原因になり
ます。



使用禁止

充電時やACアダプター使用時に雷が鳴り出したら、
電源プラグに触れないこと
感電の原因となります。
雷が鳴り止むまで機器から離れてください。

⚠ 注意 (カメラについて)



感電注意

ぬれた手でさわらないこと
感電の原因になることがあります。



保管注意

製品は、幼児の手の届く所に置かない
ケガの原因になることがあります。



使用注意

逆光撮影では、太陽を画角から充分にずらすこと
太陽光がカメラ内部で焦点を結び、火災の原因になる
ことがあります。画角から太陽をわずかに外しても火災
の原因になることがあります。



保管注意

使用しないときは、レンズにキャップを付けて太陽光
のあたらない所に保管すること
太陽光が焦点を結び、火災の原因になることがありま
す。



使用注意

航空機内での使用については、航空会社の指示に従う
病院内での使用については、病院の指示に従う



電池を取る

長期間使用しないときは電源(電池、本体充電ACアダ
プターまたはACアダプター)を外すこと
電池の液もれにより、火災、ケガや周囲を汚損する原
因になることがあります。



プラグを抜く

本体充電ACアダプターやACアダプターをお使いの際
には、電源プラグをコンセントから抜いて、その後で
カメラを取り外してください。火災の原因になること
があります。



使用注意

レンズの可動部には触れない
ケガの原因になります。



発光禁止

フラッシュの発光窓を人体やものに密着させて発光させないこと
やけどや発火の原因になることがあります。



禁止

布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと
熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。



放置禁止

窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない
故障や火災の原因になることがあります。



禁止

三脚などにカメラを取り付けたまま移動しないこと
故障やけがの原因になります。

危険

(専用Li-ionリチャージャブルバッテリーについて)



禁止

電池を火に入れたり、加熱しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



分解禁止

電池を分解しない
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



危険

電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



危険

専用の充電器を使用すること
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



使用禁止

Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL23は、ニコンデジタルカメラ専用の充電電池でCOOLPIX P900に対応しています。
EN-EL23に対応していない機器には使用しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



危険

ネックレスやヘアピンなど金属製のものと一緒に運んだり、保管したりしない
ショートして液もれ、発熱、破裂の原因になりますので、ビニール袋などに入れて絶縁してください。



危険

電池からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること
そのままにしておくと、目に傷害を与える原因となります。



警告

(専用Li-ionリチャージャブルバッテリーについて)



保管注意

電池は、幼児の手の届く所に置かない
幼児の飲み込みの原因となります。
飲み込んだときは、ただちに医師にご相談ください。



水かけ禁止

水につけたり、ぬらさないこと
液もれ、発熱の原因となります。



使用禁止

変色や変形、そのほか今までと異なることに気づいたときは、使用しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



警告

充電の際に、所定の充電時間を超えても充電が完了しないときは充電をやめる
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



警告

電池をリサイクルするときや、やむなく廃棄するときは、ビニールテープなどで接点部を絶縁すること
他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。
ニコンサービス機関またはリサイクル協力店にご持参いただくか、お住まいの自治体の規則に従って廃棄してください。



警告

電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗うこと
そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。



警告

(本体充電ACアダプターについて)



分解禁止

分解したり修理・改造をしないこと

感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。



接触禁止

落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと

感電したり、破損部でケガをする原因となります。

電源プラグをコンセントから抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。



すぐに修理依頼を



使用禁止

指定のUSBケーブルを使う

指定以外のものを使うと、事故や故障の原因になります。



プラグを抜く

熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、速やかに電源プラグをコンセントから抜くこと

そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。

電源プラグをコンセントから抜く際、やけどに充分注意してください。



すぐに修理依頼を

電源プラグをコンセントから抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。



水かけ禁止

水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと

発火したり感電の原因となります。



使用禁止

引火、爆発のおそれのある場所では使わない

プロパンガス、ガソリン、可燃性スプレーなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると爆発や火災の原因になります。



警告

電源プラグの金属部やその周辺にほこりが付着しているときは、乾いた布で拭き取ること

そのまま使用すると、火災の原因になります。



使用禁止

雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないこと

感電の原因となります。

雷が鳴り止むまで機器から離れてください。



禁止

ケーブルを傷つけたり、加工したりしないこと

また、重いものを載せたり、加熱したり、引っばったり、むりに曲げたりしないこと

ケーブルが破損し、火災、感電の原因となります。



禁止

通電中のACアダプターに長時間直接触れない

使用中に温度が高くなる部分があり、低温やけどの原因になることがあります。



感電注意

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと

感電の原因となります。



禁止

海外旅行者用電子式変圧器(トラベルコンバーター)やDC/ACインバーターなどの電源に接続して使わないこと

発熱、故障、火災の原因となります。



注意

(本体充電ACアダプターについて)



感電注意

ぬれた手でさわらないこと

感電の原因になることがあります。



放置禁止

製品は、幼児の手の届く所に置かない

ケガの原因になることがあります。



禁止

布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと

熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。



危険

(リモコン(別売)用リチウム電池について)



危険

電池からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること

そのままにしておくと、目に傷害を与える原因となります。



警告

(リモコン(別売)用リチウム電池について)



禁止

電池を火に入れたり、加熱しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。



分解禁止

電池を分解しない

液もれ、発熱、破裂の原因となります。



警告

使用説明書に表示された電池を使用すること
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



水かけ禁止

水につけたり、ぬらさないこと
液もれ、発熱の原因となります。



保管注意

電池は幼児の手の届く所に置かない
幼児の飲み込みの原因となります。
飲み込んだときは、ただちに医師にご相談ください。



警告

電池の「+」と「-」の向きをまちがえないようにすること
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



禁止

充電式電池以外は充電しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



警告

電池を廃棄するときは、ビニールテープなどで接点部
を絶縁すること
他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となり
ます。お住まいの自治体の規則に従って正しく廃棄し
てください。



警告

電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐ
にきれいな水で洗うこと
そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因と
なります。

<重要>位置情報機能（GPS/GLONASS） についてのご注意

● 本製品の地名情報データについて

位置情報機能をお使いの前に、「地名情報データ使用許諾契約書」（※22）を必ずお読みになり、ご承諾ください。

- 地名情報（Point of Interest：POI）は、2014年4月現在のものです。地名情報の更新はいたしません。
- 地名情報は、あくまでも目安としてお使いください。
- 中華人民共和国（以下「中国」）と大韓民国の地名情報（POI）は、搭載していません。

● 位置情報記録機能とログ取得について

- 本製品が計測する情報は、あくまでも目安です。航空機、車、人などの航法用途、および測量用途にお使いになれません。
- 位置情報設定メニュー〔位置情報設定〕の〔位置情報記録機能〕を〔する〕にしているときやログ取得中は、カメラの電源をOFFにした後も位置情報記録機能やログ取得機能が作動します。
- 位置情報を記録した静止画や動画などから、個人を特定できることがあります。位置情報を記録した静止画、動画、ログファイルの、他人への譲渡やインターネットなど複数の人が閲覧できる環境への掲載にはご注意ください。「●カメラやメモリーカードを譲渡/廃棄するときのご注意」（※v）も必ずお読みください。

● 海外でお使いの場合

- 位置情報機能付きカメラを旅行などで外国に持ち込む前に、使用規制の有無を旅行代理店や大使館などでお確かめください。たとえば、中国では、政府の許可なしに位置情報ログの収集はできません。〔位置情報記録機能〕を〔しない〕にしてご使用ください。
- 中国および中国の周辺国の国境付近では、位置情報機能が正常に機能しない場合があります（2014年12月現在）。

Wi-Fi (無線LAN) 機能について

● 電波に係わるご注意

- 本製品の Wi-Fi の無線機能は、ご購入された国の法令に準拠し、ご購入された国以外では使用できません。
ご購入された国以外での使用について、当社は一切の責任を負いません。
ご購入された国がわからないときは、本書裏面に記載のニコン カスタマーサポートセンターにご相談ください。

● Wi-Fi (無線LAN) 機能のご注意

2.4 DS4 / OF4

Wi-Fi (無線LAN) 機能：2.4DS4/OF4

本製品の使用周波数は 2.4 GHz 帯、変調方式は DSSS、OFDM、与干渉距離は約40 mです。

- 本製品は、「電波法」に基づく技術基準適合認証を受けた無線設備を内蔵し、証明ラベルは無線設備上に表示しています。
以下の行為は法令で罰せられることがあります。
 - 本製品の分解/改造
 - 本製品から証明ラベルをはがす
- 本製品の使用周波数帯は、以下の機器や無線設備と同じです。
 - 電子レンジなどの産業・科学・医療用機器
 - 工場の製造ライン等の移動体識別用の
 - ① 構内無線局（免許を要する無線局）
 - ② 特定小電力無線局（免許を要しない無線局）
 - アマチュア無線局（免許を要する無線局）これらの無線設備の近くでは、電波干渉で通信速度の低下、通信距離の短縮、通信の途絶が双方に生じることがあります。
- 本製品で電波干渉を起こさないよう、以下にご注意ください。
 - 使用周波数帯が同じ無線設備が近くにないか？事前に確認する
 - 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に電波干渉を生じたら、Wi-Fi アクセスポイントのチャンネル番号を変更して使用周波数を変える
 - その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、本書裏面に記載のニコン カスタマーサポートセンターにご相談ください。

- データの送受信は、第三者に傍受される危険性にご留意ください。
データ送受信による情報漏洩には、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品は、電子レンジなどの電気製品、AV 機器、OA 機器などの電磁波や磁気の発生源の周辺で使わないでください。
 - 雑音が増大したり、通信が途絶したりします。
 - AV機器、OA機器などの受信障害の原因になります。

● 本製品の使用上のご注意

本製品は、Wi-Fi（無線LAN）機器としてお使いください。

Wi-Fi 機器以外としての使用による損害は、当社では一切の責任を負いません。

- 医療機器や人命に直接的または間接的に係わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使わないでください。
- Wi-Fi 機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途では、使用システムの安全設計や故障に対する適切な処置をしてください。

● 本製品の輸出、持ち出しに係わるご注意

本製品は、米国輸出規制（EAR）を含む米国法の対象であり、米国政府指定の輸出規制国（キューバ、イラン、北朝鮮、スーダン、シリア）への輸出や持ち出しには、米国政府の許可が必要になりますので、ご注意ください。
なお、輸出規制国は変更されている可能性がありますので、詳しくは米国商務省へお問い合わせください。

● 個人情報の管理および免責事項

- 使用者によって本製品内に登録または設定された、Wi-Fi（無線LAN）接続設定等の個人情報を含む情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱いで変化、消失する場合があります。
必要な内容は、お客さまの責任において控えを必ずおとりください。
当社の責によらない内容の変化、消失、それらに起因する直接または間接の損害および逸失利益には、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品を譲渡/廃棄するときは、使用者によって本製品内に登録または設定された、Wi-Fi接続設定等の個人情報を含む内容を、セットアップメニュー（□57）の【設定クリアー】で消去してください。
- 本製品の盗難や紛失などで、第三者による不正使用の被害が発生しても、当社は一切の責任を負いません。

目次

はじめに	ii
はじめにお読みください	ii
「活用ガイド」のダウンロードについて	ii
無償ソフトウェアのダウンロードについて	ii
本書の記載について	iii
箱の中身を確認する	iii
ご確認ください	iv
安全上のご注意	vi
<重要>位置情報機能 (GPS/GLONASS) についてのご注意	xiv
Wi-Fi (無線 LAN) 機能について	xv
<hr/>	
各部の名称	1
カメラ本体	1
モニター画面の表示内容	3
表示する情報を切り換える (DISP ボタン)	3
撮影画面の表示内容	4
再生画面の表示内容	7
<hr/>	
撮影の準備	9
ストラップとレンズキャップの取り付け方	9
電池とメモリーカードを入れる	10
電池やメモリーカードを取り出すときは	10
電池を充電する	11
液晶モニターの開き方と角度調節	13
電源を ON にして、表示言語と日時を設定する	14
<hr/>	
撮影と再生の基本操作	16
📷 (オート撮影) モードで撮影する	16
フラッシュを使う	18
液晶モニターと電子ビューファインダーを切り換える	19
ズームを使う	20
シャッターボタンの半押しと全押し	21
動画を撮影する	21
画像を再生する	22
画像を削除する	23
撮影モードを変える	24
マルチセレクターで設定できる機能 (撮影時)	25

いろいろな撮影	26
📷 (オート撮影) モード	26
シーンモード (シーンに合わせて撮影する)	27
スペシャルエフェクトモード (効果を付けて撮影する)	28
P、S、A、M モード (露出を設定して撮影する)	30
U (ユーザーセッティング) モード	34
U モードに設定を登録する (User Setting 登録)	35
フラッシュモード	36
セルフタイマー	38
笑顔自動シャッター (笑顔を自動撮影する)	39
フォーカスモード	40
マニュアルフォーカスの使い方	42
露出補正 (明るさを調節する)	44
Fn (ファンクション) ボタンで設定できる機能	45
撮影時に組み合わせて使えない機能	46
<hr/>	
MENU (メニュー) ボタンで設定できる機能	49
撮影メニュー	51
撮影モード共通	51
P、S、A、M、U モード	51
動画メニュー	54
再生メニュー	55
画像選択画面の操作方法	56
セットアップメニュー	57
<hr/>	
位置情報機能を使う	59
<hr/>	
Wi-Fi (無線 LAN) を使う	60
スマートデバイスにソフトウェアをインストールする	60
<hr/>	
テレビ、プリンター、パソコンとの接続	61

付録、索引..... 1

取り扱い上のご注意.....	2
カメラについて	2
電池について	3
本体充電ACアダプターについて	4
メモリーカードについて	5
お手入れ方法	6
クリーニングについて	6
保管について	6
故障かな?と思ったら.....	7
主な仕様.....	16
使用できるメモリーカード	20
地名情報データ使用許諾契約書.....	22
索引	28
修理サービスのご案内.....	34
ニコンプラザについて.....	35

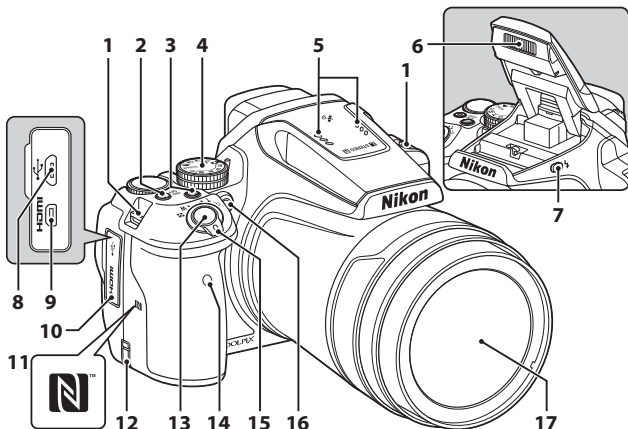


A series of horizontal dashed lines spanning the width of the page, intended for handwriting practice.

各部の名称

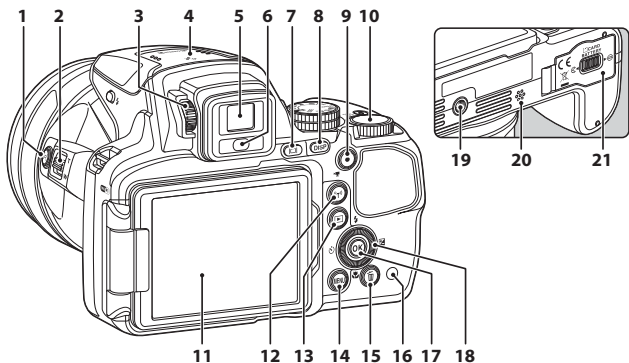
カメラ本体

フラッシュポップアップ時



各部の名称

- | | | | |
|----|--------------------------------------|------------------------------|------------------------------|
| 1 | ストラップ取り付け部 9 | 11 | Nマーク (NFCアンテナ部) |
| 2 | 電源スイッチ/電源ランプ
(充電ランプ) ... 11、14、18 | 12 | パワーコネクターカバー (別
売ACアダプター用) |
| 3 | Fn (ファンクション) ボタン
..... 45 | 13 | シャッターボタン 17 |
| 4 | モードダイヤル 16、24 | 14 | リモコン受光部 (別売リモ
コンML-L3用) |
| 5 | マイク (ステレオ) 54 | ズームレバー 20 | |
| 6 | フラッシュ 36 | W : 広角ズーム 20、22 | |
| 7 | ⚡ (フラッシュポップアップ)
ボタン 36 | T : 望遠ズーム 20、22 | |
| 8 | Micro-USB端子 11、61 | ☒ : サムネイル表示 | |
| 9 | HDMIマイクロ端子 (Type D)
..... 61 | Q : 拡大 | |
| 10 | 端子カバー 11、61 | 15 | セルフタイマーランプ 38 |
| | | 16 | 赤目軽減ランプ 37 |
| | | | AF補助光 57 |
| | | 17 | レンズ |



1	(クイックバックズーム) ボタン 21	12	(Wi-Fi) ボタン 60
2	サイドズームレバー 20 W : 広角ズーム 20 T : 望遠ズーム 20	13	(再生) ボタン 22
3	視度調節ダイヤル 19	14	MENU (メニュー) ボタン 49、51、54、55、57
4	測位アンテナ部	15	(削除) ボタン 23
5	電子ビューファインダー ... 19	16	リモコン受光部 (別売リモコン ML-L3用)
6	アイセンサー 19	17	(決定) ボタン 50
7	(モニター) ボタン ... 19	18	ロータリーマルチセクター (マルチセクター) ※ 25
8	DISP (表示切り換え) ボタン 3	19	三脚ネジ穴
9	(動画撮影) ボタン 21	20	スピーカー 57
10	コマンドダイヤル ... 30、32	21	電池/メモリーカードカバー 10
11	液晶モニター 4、13		

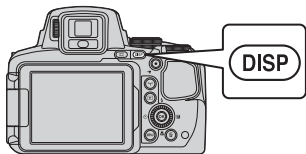
※ 本書では「マルチセクター」と表記することがあります。

モニター画面の表示内容

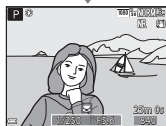
撮影、再生画面に表示される情報は、カメラの設定や状態によって異なります。

表示する情報を切り換える (DISPボタン)

DISP (表示切り換え) ボタンを押すたびに、撮影時や再生時にモニター画面に表示する情報の切り換えができます。

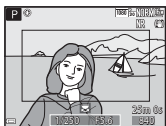


撮影時



情報ON

撮影画像と撮影情報を表示します。



動画枠表示

動画の写る範囲を枠線で表示します。



情報OFF

撮影画像だけを表示します。



撮影時のヒストグラム、格子線、水準器表示について

セットアップメニュー (□57) → [モニター設定] で設定できます。

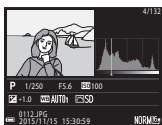
- 撮影モードP、S、A、Mでヒストグラムや水準器を表示するには、[AFエリア選択] (□52) をマニュアルに設定してください。
- ヒストグラムや水準器は、📷 (オート撮影) モードや一部のシーンモードでは表示できません。

再生時



画像情報ON

再生画像と画像情報を表示します。



トーンレベル

インフォメーション (動画は除く)

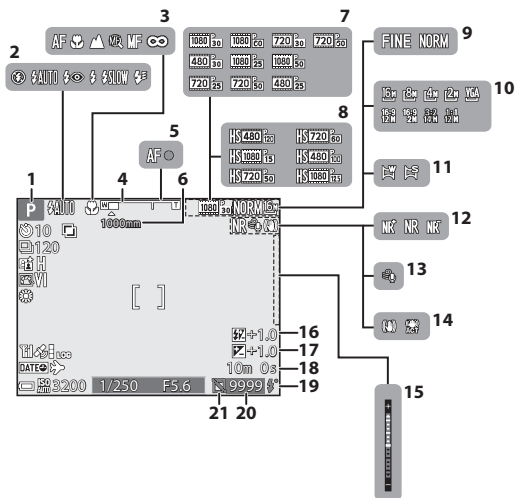
ヒストグラムとトーンレベル、撮影情報を表示します (□8)。



情報OFF

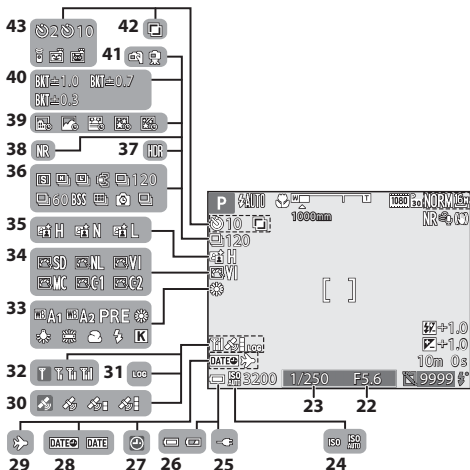
再生画像だけを表示します。

撮影画面の表示内容



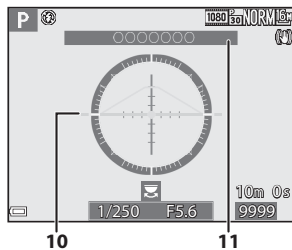
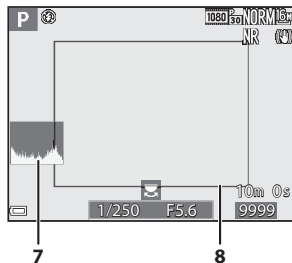
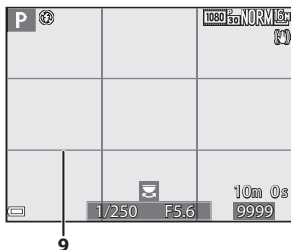
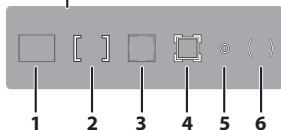
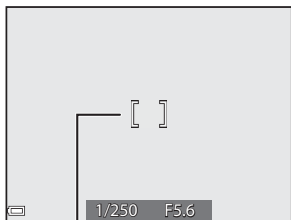
各部の名称

1	撮影モード	24	13	風切り音低減	54
2	フラッシュモード	36	14	手ブレ補正表示	57
3	フォーカスモード	40		電子手ブレ補正表示	54
4	ズーム表示	20、41	15	露出インジケータ	32
5	AF表示	17	16	調光補正	52
6	ズームメモリー	53	17	露出補正值	44
7	動画設定 (通常速度の動画)	54	18	記録可能時間 (動画)	
8	動画設定 (HS動画)	54	19	レディーライト	36
9	画質	51	20	記録可能コマ数 (静止画)	16
10	画像サイズ	51		カードなし時リリース許可表示 (メモリーカード未挿入時)	57、9
11	かんたんパノラマ	27	21		
12	ノイズ低減フィルター	52			



22	絞り値	30
23	シャッタースピード	30
24	ISO感度表示	52
25	本体充電ACアダプター接続 中表示	
26	電池残量表示	16
27	日時未設定	57、
28	日付写し込み	57
29	訪問先	57
30	位置情報受信状態	59
31	ログ取得表示	
32	Wi-Fi通信表示	60
33	ホワイトバランス	51
34	COOLPIXピクチャーコント ロール	51

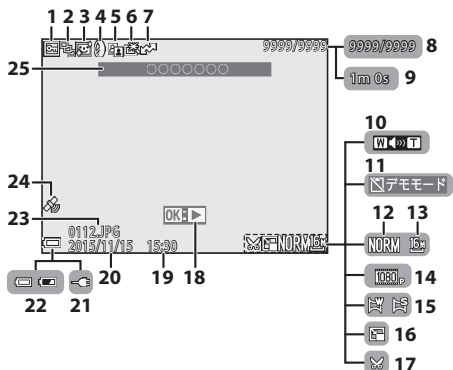
35	アクティブD-ライティング	52
36	連写モード	52
37	逆光 (HDR)	27
38	連写NR撮影/通常撮影	
39	タイムラプス動画	27
40	AEブラケットング	52
41	手持ち撮影/三脚撮影	
42	多重露出	52
43	セルフタイマー	38
	リモコン	
	笑顔自動シャッター	39
	ペット自動シャッター	38



- 1** AFエリア (ターゲットファイン
ドAF) 45、52
- 2** AFエリア (中央/マニュアル)
..... 27、28、45、52
- 3** AFエリア (顔認識、ペット検
出) 39、45、52
- 4** AFエリア (ターゲット追尾)
..... 45、52
- 5** スポット測光範囲 51

- 6** 中央部重点測光範囲 51
- 7** ヒストグラム表示 3
- 8** フレーミング枠 (シーンモードの [月]、[鳥] またはクイックバックズーム時) 21
- 9** 格子線表示 3
- 10** 水準器表示 3
- 11** 地名情報 (POI情報) 59

再生画面の表示内容

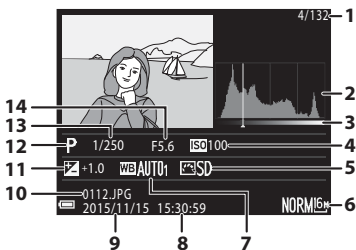


各部の名称

1	プロテクト表示	55	14	動画設定	54
2	連写グループ表示（〔1枚ずつ〕設定時）	55	15	かんたんパノラマ表示	
3	美肌編集済み表示	55	16	スモールピクチャー	55
4	フィルター効果済み表示	55	17	トリミング	
5	D-ライティング済み表示	55		かんたんパノラマ再生ガイド	
6	簡単レタッチ済み表示	55	18	連写グループ再生ガイド	
7	Wi-Fi送信予約済み表示			動画再生ガイド	
8	画像の番号/全画像数		19	撮影時刻	14
9	動画の再生時間		20	撮影日	14
10	音量表示		21	本体充電ACアダプター接続中表示	
11	カードなし時リリース許可表示（メモリーカード未挿入時）	57	22	電池残量表示	16
12	画質	51	23	ファイル名	
13	画像サイズ	51	24	位置情報記録済み表示	
			25	地名情報（POI情報）	

トーンレベルインフォメーション表示

ハイライト部の白とびや暗部の黒つぶれの状態を、ヒストグラム表示やトーン（明暗）レベルごとの点滅表示などで確認できます。露出補正などで画像の明るさを調節する際の目安になります。

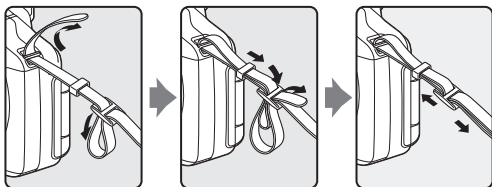


1	画像の番号/全画像数	8	撮影時刻	14	
2	ヒストグラム※ ¹	9	撮影日	14	
3	トーンレベル※ ²	10	ファイル名		
4	ISO感度	52	11	露出補正值	44
5	COOLPIXピクチャーコントロール	51	12	撮影モード	24
6	画質/画像サイズ	51	13	シャッタースピード	30
7	ホワイトバランス	51	14	絞り値	30

- ※1 ヒストグラムは、画像の明るさの分布を表すグラフです。横軸は輝度を示し、左へ行くほど暗くなり、右へ行くほど明るくなります。縦軸は画素数を示します。
- ※2 トーンレベルは、明暗のレベルを表します。マルチセレクターの◀▶または回転で確認するトーンレベルを選ぶと、選んだトーンレベルに対応する画像の部分が点滅します。

撮影の準備

ストラップとレンズキャップの取り付け方

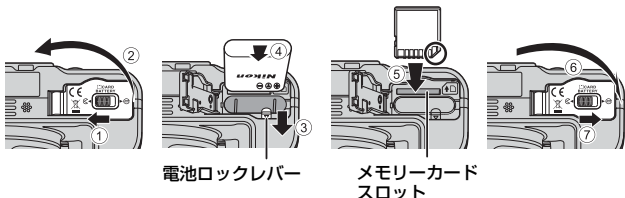


2カ所に取り付けます。

✓ レンズキャップについて

撮影しないときは、レンズキャップをレンズに取り付け、レンズを保護してください。

電池とメモリーカードを入れる



電池ロックレバー

メモリーカード
スロット

- 電池は、+と-を正しい向きにし、オレンジ色の電池ロックレバーをずらしながら (③)、奥まで差し込みます (④)。
- メモリーカードは、正しい向きでカチッと音がするまで差し込みます (⑤)。
- 電池やメモリーカードの向きを間違えると、故障の原因になりますので、ご注意ください。

✓ メモリーカードの初期化について

他の機器で使ったメモリーカードをこのカメラではじめて使うときは、必ずこのカメラで初期化してください。メモリーカードをカメラに入れ、MENU ボタンを押し、セットアップメニュー (□57) の [カードの初期化] を選びます。

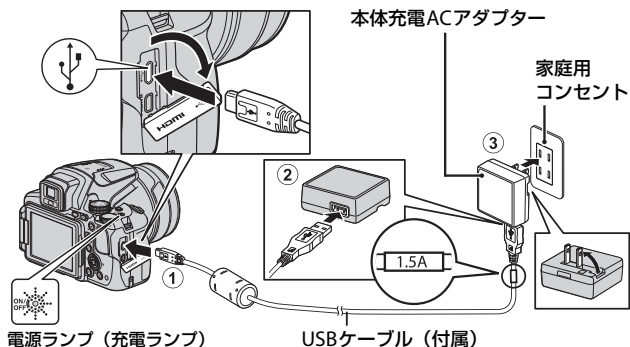
電池やメモリーカードを取り出すときは

電源をOFFにして、電源ランプと液晶モニターの消灯を確認してから、電池/メモリーカードカバーを開けます。

- 電池ロックレバーをずらすと、電池が押し出されます。
- メモリーカードを指で軽く押し込むと、メモリーカードが押し出されません。
- カメラを使った直後は、カメラや電池、メモリーカードが熱くなっていることがありますので、ご注意ください。

電池を充電する

1 電池を入れたカメラを、家庭用コンセントに接続する



- 電源ランプ (充電ランプ) が緑色でゆっくり点滅し、充電が始まります。
- 充電が終わると、電源ランプが消灯します。残量がない電池の場合、約3時間40分かかります。
- 電源ランプが緑色で速い点滅を繰り返す場合は、充電できません。以下の原因が考えられます。
 - 充電可能な温度ではない。
 - USB ケーブルまたは本体充電 AC アダプターが正しく接続されていない。
 - 電池に異常がある。

2 コンセントから本体充電ACアダプターを外し、USBケーブルを外す

USBケーブルについてのご注意

- UC-E21以外のUSBケーブルは絶対に使わないでください。発熱、火災、感電の原因になります。
- プラグの向きを確認して、まっすぐに差し込んでください。プラグを外すときも、まっすぐに引き抜いてください。

充電についてのご注意

EH-71P/EH-73P以外の本体充電ACアダプター、市販のUSB-ACアダプター、携帯電話用充電器は絶対に使わないでください。カメラの故障、発熱の原因になります。

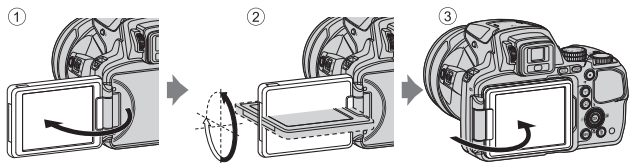
パソコンや充電器で充電する

- このカメラをパソコンに接続しても、電池を充電できます。
- 別売のバッテリーチャージャー MH-67Pを使うと、カメラを使わずに電池を充電できます。

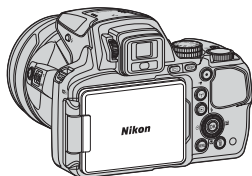
液晶モニターの開き方と角度調節

液晶モニターの向きを変えると、カメラを高い位置や低い位置に構えて撮影するとき、自分撮りをするときなどに便利です。

通常は、モニター画面を外側にしてカメラ本体に収納した状態 (③) でお使いください。



カメラを使わないときや持ち運ぶときは、傷や汚れを防ぐためにモニター画面を内側にしてカメラ本体に収納してください。



撮影の準備

✓ 液晶モニターについてのご注意

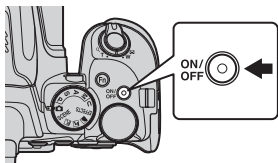
液晶モニターを動かすときは、接続部が破損しないよう、無理な力を加えず、可動範囲内でゆっくりと回してください。

電源をONにして、表示言語と日時を設定する

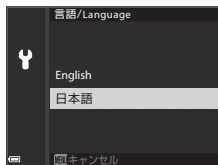
ご購入後はじめて電源をONにすると、表示言語やカメラの内蔵時計の日時を設定する画面が自動的に表示されます。

1 電源スイッチを押して、電源をONにする

- ・液晶モニターが点灯します。
- ・もう一度電源スイッチを押すと、電源はOFFになります。



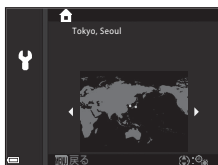
2 マルチセレクターの▲▼で表示言語を選び、OKボタンを押す



3 [はい] を選び、OKボタンを押す

4 自宅のある地域 (タイムゾーン) を選び、OKボタンを押す

- ・▲を押すと地図上部に☁が表示され、夏時間として設定されます。取り消すには▼を押します。



5 ▲▼で日付の表示順を選び、OKボタンを押す

6 日時を合わせ、**OK**ボタンを押す

- ・ ◀▶で項目を選び、▲▼で日時を合わせます。
- ・ [分] を選んで **OK** ボタンを押し、設定を確認します。



7 確認画面が表示されたら、▲▼で [はい] を選び、**OK**ボタンを押す

- ・ 設定が完了すると、レンズが繰り出し、撮影画面になります。

言語や日時の設定をやり直すには

- ・ **Y**セットアップメニュー (□□57) で [言語/Language] または [地域と日時] を設定します。
- ・ **Y**セットアップメニュー → [地域と日時] → [タイムゾーン] で、夏時間の設定をオンにすると時計が1時間早くなり、オフにすると1時間戻ります。

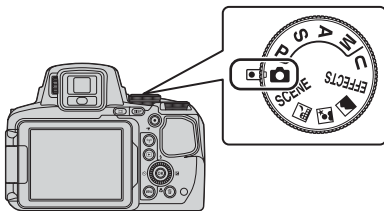
時計用電池について

- ・ カメラの時計は、内蔵のバックアップ用電池で動いています。バックアップ用電池は、カメラに電池を入れるかACアダプター (別売) を接続すると、約10時間で充電され、時計を数日間動かします。
- ・ バックアップ用電池が切れたときは、電源を ON にすると、日時を設定する画面が表示されます。日時を再設定してください (□□14)。

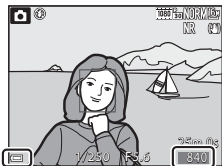
撮影と再生の基本操作

📷 (オート撮影) モードで撮影する

1 モードダイヤルを回して、📷に合わせる



- 📷 (オート撮影) モードになり、基本的な撮影ができます。
- DISP (表示切り換え) ボタンを押すと、撮影時や再生時にモニター画面に表示する情報を切り換えできます。
- 電池残量表示
🔋: 電池残量があります。
🔋: 電池残量が少なくなりました。

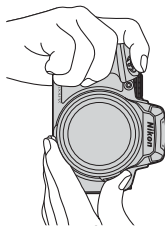
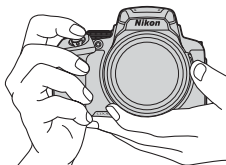


電池残量表示

記録可能
コマ数

2 カメラを構える

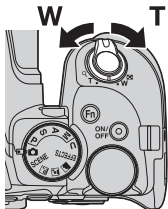
- レンズやフラッシュ、AF 補助光、マイク、スピーカーなどに、指などがかからないようにご注意ください。



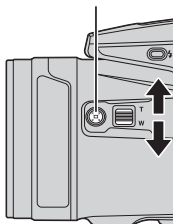
3 構図を決める

- ・ズーム位置を変えるには、ズームレバーまたはサイドズームレバーを動かします。
- ・望遠側のズーム位置で被写体を見失ったときは、**Q** (クイックバックズーム) ボタンを押すと、一時的に画角 (見える範囲) が広がり、被写体を捉えやすくなります。

広い範囲を写す 大きく写す

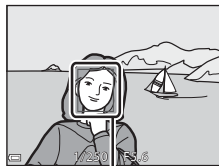
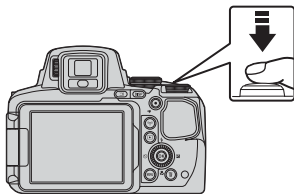


Q ボタン



4 シャッターボタンを半押しする

- ・ピントが合うと、AF エリアまたはAF表示が緑色に点灯します。
- ・電子ズーム使用時は、AF エリアは表示されず、画面中央でピントが合います。
- ・AFエリアまたはAF表示が点滅したときはピントが合っていない。構図を変えて半押しをやり直してください。



AFエリア

5 半押ししたまま、シャッターボタンを全押しして撮影する



✓ 撮影後の記録についてのご注意

撮影後、「記録可能コマ数」または「記録可能時間」が点滅しているときは、画像または動画の記録中です。電池/メモリーカードカバーを開けたり、電池やメモリーカードを取り出したりしないでください。撮影した画像や動画が記録されないことや、カメラやメモリーカードが壊れることがあります。

📎 オートパワーオフについて

- カメラを操作しない状態が約1分続くと、液晶モニターが消灯して待機状態になり、電源ランプが点滅します。待機状態が約3分続くと電源はOFFになります。
- 待機中に液晶モニターを再点灯するには、電源スイッチやシャッターボタンなどを押します。

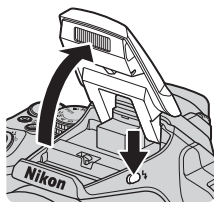
📎 三脚の使用について

- 以下の場合などは、手ブレしやすくなるため、三脚などの使用をおすすめしません。
 - 暗い場所でフラッシュが⚡（発光禁止）のとき
 - ズーム位置が望遠側のとき
- 三脚などで固定して撮影するときは、補正機能の誤動作を防ぐためセットアップメニュー（□57）の【手ブレ補正】を【しない】にしてください。

フラッシュを使う

暗いところや逆光などでフラッシュが必要なときは、⚡（フラッシュポップアップ）ボタンを押し、フラッシュをポップアップします。

- フラッシュを使わないときは、フラッシュを手で軽く押し下げて、閉じてください。

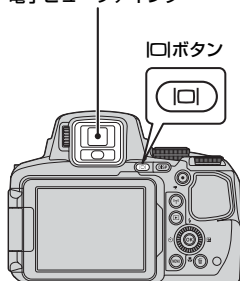


液晶モニターと電子ビューファインダーを切り換える

日差しの強い屋外など、明るい場所でモニター画面が見えにくいときは、電子ビューファインダーを使えます。

- 電子ビューファインダーに顔を近づけると、アイセンサーが反応し、電子ビューファインダーが点灯して、液晶モニターが消灯します（初期設定）。
- **□**ボタンを押しても、液晶モニターまたは電子ビューファインダーに表示が切り換わります。

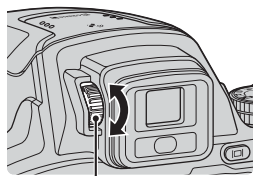
電子ビューファインダー



ファインダーの視度調節

ファインダー内の像が見えにくいときは、ファインダーをのぞきながら、視度調節ダイヤルを回して調節します。

- 爪や指先で目を傷つけないようにご注意ください。



視度調節ダイヤル

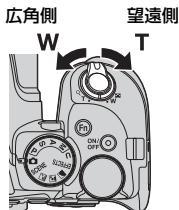
✓ 画像の色などの確認や調節をするときのご注意

電子ビューファインダーよりも色再現性の高い背面の液晶モニターをお使いください。

ズームを使う

ズームレバーを動かすと、ズーム位置が変わりま
す。

- 大きく写す：**T**側
- 広い範囲を写す：**W**側
- ズームレバーをいっぱいまで回すと、ズームが速
くなります。
- サイドズームレバーを**T**または**W**側に動かして
も、ズームの操作ができます。
サイドズームレバーの機能は、セットアップメ
ニュー（**0057**）の**〔サイドズームレバー設定〕**
で変更できます。
- ズームレバーを動かすと、撮影画面にズーム
の量が表示されます。
- 光学ズームの最大倍率でズームレバーを**T**側
に動かすと、電子ズームが作動し、さらに約
4倍まで拡大できます。




光学ズーム 電子ズーム




電子ズームについて

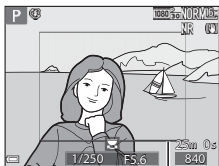
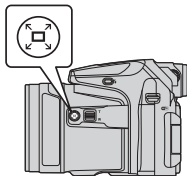
電子ズームが作動するとズーム表示が青色に変わり、さらに倍率を上げると黄色
に変わります。

- ズーム表示が青色のとき：ダイナミックファインズームにより、電子ズームに
よる画質の劣化が抑えられます。
- ズーム表示が黄色のとき：画質の劣化が目立つことがあります。
- 青色の領域は、画像サイズが小さいほど広くなります。
- 連写の設定などによっては、ズーム表示が青色にならないことがあります。

クイックバックズームを使う



望遠側のズーム位置で被写体を見失ったときは、 (クイックバックズーム) ボタンを押すと、一時的に画角(見える範囲)が広がり、被写体を捉えやすくなります。

-  ボタンを押したまま、撮影画面のフレーミング枠内に被写体を捉えます。画角をさらに広げたいときは、 ボタンを押したまま、ズームレバーをW側に動かします。
-  ボタンを離すと、元のズーム位置に戻ります。
- 動画撮影中はクイックバックズームを使えません。



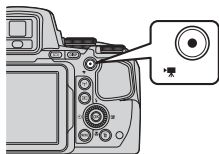
フレーミング枠

シャッターボタンの半押しと全押し

<p>半押し</p> 	<p>シャッターボタンを軽く抵抗を感じるころまで押し、そのまま指を止めることを、「シャッターボタンを半押しする」といいます。 半押しするとピントと露出(シャッタースピードと絞り値)が合います。半押しを続けている間、ピントと露出を固定します。</p>
<p>全押し</p> 	<p>シャッターボタンを深く押し込む(全押しする)と、シャッターがきれます。 シャッターボタンを押すときに力を入れすぎると、カメラが動いて画像がぶれる(手ブレする)ことがあるので、ゆっくりと押し込んでください。</p>

動画を撮影する

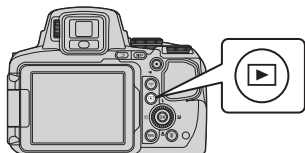
撮影画面を表示し、●(動画撮影) ボタンを押すと撮影を開始します。終了するにはもう一度●(動画撮影) ボタンを押します。



画像を再生する

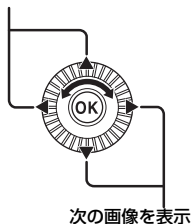
1 再生ボタンを押して、再生モードにする

- 電源OFFの状態ですべてのボタンを長押しすると、再生モードで電源がONになります。



2 マルチセレクターで前後の画像を 前の画像を表示 表示する

- ▲▼◀▶を長押しすると、画像が速く切り替わります。
- マルチセレクターを回しても画像を選べます。
- DISP ボタンを押すと、モニター画面に表示される画像情報や撮影情報の表示/非表示を切り換えできます。
- 撮影した動画を再生するには、OK ボタンを押します。
- 撮影に戻るには、再生ボタンまたはシャッターボタンを押します。



- 1コマ表示でズームレバーをT(Q)側に動かすと、拡大表示されます。

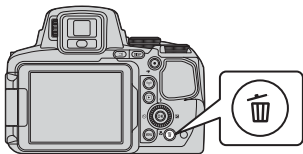


- 1コマ表示でズームレバーをW(ワイド)側に動かすと、画像を一覧できる「サムネイル表示」になります。



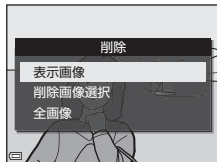
画像を削除する

- 1 削除したい画像を表示して
🗑️ (削除) ボタンを押す



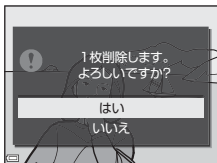
- 2 マルチセレクターの ▲▼ で削除方法
を選び、OK ボタンを押す

- ・ 削除をやめるには、MENU ボタンを押します。
- ・ [削除画像選択] を選んだときは→「画像選択画面の操作方法」(□56)



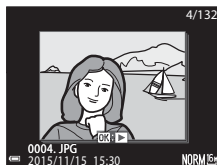
- 3 [はい] を選び、OK ボタンを押す

- ・ 削除した画像は、元に戻せません。



✓ 連写した画像 (連写グループ) の削除について

- ・ 連写した画像は「連写グループ」として保存され、再生すると1コマ目 (代表画像) のみを表示します (初期設定)。
- ・ 代表画像の表示中に 🗑️ ボタンを押すと、その連写グループの画像すべてが削除されます。
- ・ 連写グループ内の画像を個別に削除するときは、OK ボタンを押して1コマずつに展開表示してから 🗑️ ボタンを押します。

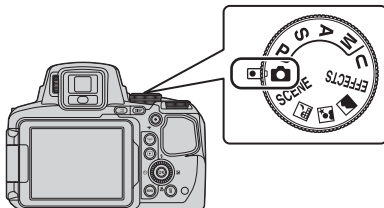


📎 撮影モードで画像を削除する

撮影モードで 🗑️ ボタンを押すと、最後に保存した画像を削除できます。

撮影モードを変える

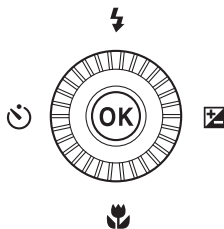
モードダイヤルを回すと、以下の撮影モードに変わります。



- **📷 (オート撮影) モード**
基本的な撮影ができます。
- **SCENE、🏞️、👤、🏔️ (シーン) モード**
撮影シーンを選ぶと、そのシーンに適した設定で撮影ができます。
 - **SCENE**：MENU ボタンを押して、撮影シーンを選びます。[おまかせシーン]にすると、構図を決めるだけでカメラが撮影シーンを自動的に判別し、簡単にシーンに適した撮影ができます。
タイムラプス動画にすると、静止画を一定間隔で複数回自動撮影し、時間の経過による被写体の変化を約10秒間の早送り動画にして記録します。
 - 🏞️ (夜景)：夜景の撮影に使います。
 - 👤 (夜景ポートレート)：夕景や夜景を背景にした人物撮影に使います。
 - 🏔️ (風景)：風景の撮影に使います。
- **EFFECTS (スペシャルエフェクト) モード**
画像に効果を付けて撮影できます。MENU ボタンを押して、効果を選びます。
- **P、S、A、Mモード**
シャッタースピードや絞り値などを自分で決めて、より本格的な撮影を楽しめます。
- **U (ユーザーセッティング) モード**
撮影でよく使う設定の組み合わせを登録できます。登録した設定は、モードダイヤルをUに合わせるだけで、すぐに呼び出して撮影できます。

マルチセレクターで設定できる機能(撮影時)

撮影画面でマルチセレクターの▲ (⚡) ◀ (🕒) ▼ (🌸) ▶ (📷) を押すと、以下の機能を設定できます。



- **⚡ フラッシュモード**
フラッシュのポップアップ時に、発光モード(フラッシュモード)を撮影状況に合わせて設定できます。
- **🕒 セルフタイマー/リモコン/笑顔自動シャッター**
セルフタイマーを10秒または2秒から選べます。
笑顔自動シャッターに設定すると、カメラが人物の笑顔を検出して自動でシャッターがきれます。
リモコンに設定すると、別売のリモコンML-L3でシャッターをきることができます。
- **🌸 フォーカスモード**
被写体との距離によって、AF(通常AF)、🌸(マクロAF)、または▲(遠景AF)に設定できます。撮影モードがP、S、A、M、U、EFFECTS、シーンモードの[スポーツ]、[打ち上げ花火]、[鳥]、または[タイムラプス動画](星空、星軌跡)のときは、MF(マニュアルフォーカス)に設定できます。
- **📷 露出補正**
画像全体の明るさを調節できます。

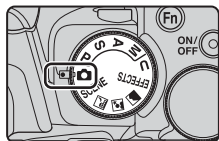
設定できる機能は、撮影モードによって異なります。

いろいろな撮影

📷 (オート撮影) モード

基本的な撮影ができます。

- カメラが主要な被写体を検出し、ピントを合わせます (ターゲットファインドAF)。カメラが人物の顔を検出したときは、人物を優先します。



📷 (オート撮影) モードで設定できる機能

- フラッシュモード (📖36)
- セルフタイマー (📖38)
- 笑顔自動シャッター (📖39)
- フォーカスモード (📖40)
- 露出補正 (📖44)
- 撮影メニュー (📖51)

シーンモード(シーンに合わせて撮影する)

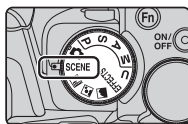
撮影シーンを選ぶと、そのシーンに適した設定で撮影ができます。



- 🌃 夜景 ※1 ※2、🌃 夜景ポートレート、
- 🏞️ 風景 ※1 ※2

モードダイヤルを🌃、🌃または🏞️に合わせて撮影します。

SCENE (シーン)



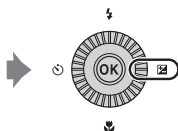
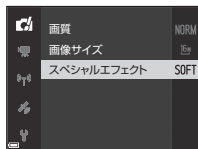
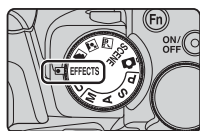
MENU ボタンを押してシーンメニューを表示し、マルチセレクターで以下の撮影シーンを選びます。

🏠 おまかせシーン (初期設定)	🎵 ミュージアム ※1
👤 ポートレート	💣 打ち上げ花火 ※3
🏆 スポーツ ※1	📄 モノクロコピー ※1
🎉 パーティー ※1	📷 逆光 ※1
🏖️ ビーチ ※1	🗨️ かんたんパノラマ ※1
❄️ 雪 ※1	🐶 ペット
🔥 夕焼け ※1 ※2 ※3	🌕 月 ※1 ※2 ※3
🌆 トワイライト ※1 ※2 ※3	🐦 鳥 ※1
👁️ クローズアップ	🕒 タイムラプス動画 ※3 ※4
🍴 料理	

- ※1 ピントは画面中央のエリアで合わせます。エリアの位置は移動できません。
- ※2 ピントは遠景に合います。
- ※3 三脚などの使用をおすすめします。三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニュー(📄57)の[手ブレ補正]を[しない]にしてください。
- ※4 静止画を一定間隔で複数回自動撮影し、時間の経過による被写体の変化を約10秒間の早送り動画にして記録します。

スペシャルエフェクトモード（効果を付けて撮影する）

画像に効果を付けて撮影できます。



効果は、MENU（メニュー）ボタンを押してスペシャルエフェクトメニューを表示し、マルチセレクターで選びます。

項目	内容
ソフト※（初期設定）	やわらかな雰囲気にするために、画像全体を少しぼかします。
ノスタルジックセピア※	セピア色でコントラストが低めの、昔の写真のような雰囲気にします。
硬調モノクローム	コントラストがはっきりした調子の白黒写真にします。
ハイキー	画像全体を明るいトーンで表現します。
ローキー	画像全体を暗いトーンで表現します。
セレクトカラー	特定の色だけを残し、他の部分を白黒にします。
高感度モノクロ	意図的に高感度で撮影して、モノトーン（白黒）で表現します。暗いところでの撮影に適しています。 ・撮影した画像にノイズ（ざらつき、むら、すじ）が発生する場合があります。
クロスプロセス	ポジフィルムをネガ現像処理、またはネガフィルムをポジ現像処理したような、通常とは違う色合いで撮影します。

※ 選べない [動画設定] (□54) があります。

- ピントは画面中央のエリアで合わせます。エリアの位置は移動できません。
- [セレクトカラー] または [クロスプロセス] を選んだときは、コマンドダイヤルを回して色を選び、**OK** ボタンで決定します。色を選び直すには、もう一度**OK** ボタンを押します。



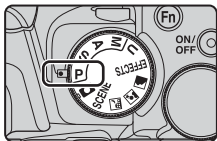
スペシャルエフェクトモードで設定できる機能

- フラッシュモード (□36)
- セルフタイマー (□38)
- フォーカスモード (□40)
- 露出補正 (□44)
- 撮影メニュー (□51)

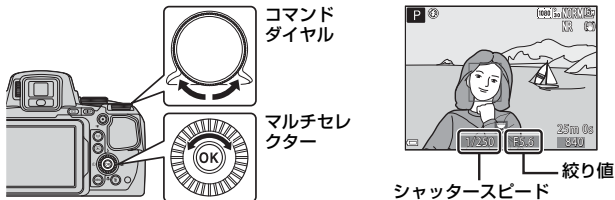
P、S、A、Mモード（露出を設定して撮影する）

撮影状況や撮影意図に合わせて、シャッタースピードや絞り値を自分で設定できるほか、撮影メニュー（☐51）の項目を設定して、より本格的な撮影を楽しめます。

- ピント合わせをするエリアは、[AFエリア選択]（☐52）の設定によって異なります。
- 初期設定の[ターゲットファインドAF]では、カメラが主要な被写体を検出し、ピントを合わせます。カメラが人物の顔を検出したときは、人物を優先します。



シャッタースピードや絞り値を設定するには、コマンドダイヤルまたはマルチセレクターを回します。



露出モード	シャッタースピード	絞り値
P プログラムオート （☐32）	自動調節（コマンドダイヤルでプログラムシフト可能）	
S シャッター優先オート （☐32）	コマンドダイヤルで調節	自動調節
A 絞り優先オート （☐32）	自動調節	マルチセレクターで調節
M マニュアル露出 （☐32）	コマンドダイヤルで調節	マルチセレクターで調節

📄 関連ページ

Av/Tv操作切り換え → ☐57

露出について

シャッタースピードや絞り値を自分で調節して、画像が意図した明るさ（露出）で撮影されるようにすることを「露出を合わせる」といいます。同じ露出でもシャッタースピードと絞り値の組み合わせによって撮影される画像の流動感や背景のぼかし具合が変わります。

シャッタースピードを調節する



速くする
1/1000 秒



遅くする
1/30 秒

絞り値を調節する



小さくする
(絞りを開く)
f/2.8



大きくする
(絞りを絞り込む)
f/8

シャッタースピードの制御範囲について

シャッタースピードの制御範囲は、ズーム位置や絞り、ISO感度の設定によって異なります。

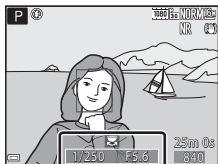
絞り値 (F値) とズームについて

レンズの絞り値は、数値が小さくなるほど（絞りを開くほど）明るくなり、数値が大きくなるほど（絞りを絞るほど）暗くなります。レンズの最も明るい絞り値を「開放絞り値」といい、最も暗い絞り値を「最小絞り値」といいます。このカメラの絞り値は、ズーム位置によっても変化します。

P (プログラムオート)

露出の設定をカメラにまかせて撮影します。

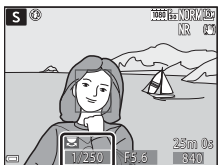
- コマンドダイヤルを回すと、露出値を変えずにシャッタースピードと絞り値の組み合わせを変えられます。これを「プログラムシフト」といいます。プログラムシフト中は、モニター画面左上の**P**表示の横にプログラムシフトマーク(✳)が表示されます。
- プログラムシフトを解除するには、プログラムシフトマーク(✳)が消えるまでコマンドダイヤルを回します。撮影モードを切り換えたり、電源をOFFにしても、プログラムシフトを解除できます。



S (シャッター優先オート)

動きの速い被写体を速いシャッタースピードで撮影したり、遅いシャッタースピードで動きを強調するときなどに使います。

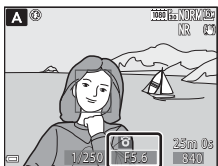
- コマンドダイヤルを回すと、シャッタースピードを調節できます。



A (絞り優先オート)

被写体を手前から奥まで鮮明に写したり、被写体の背景を意図的にぼかしたいときなどに使います。

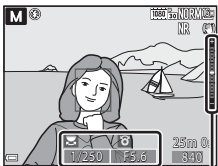
- マルチセレクターを回すと、絞り値を調節できます。



M (マニュアル露出)

撮影意図に合わせて、露出をコントロールしたときに使います。

- 設定したシャッタースピードと絞り値の組み合わせによる露出値と、カメラが測定した適正露出値の差がモニター画面の露出インジケータに表示されます。露出インジケータは、-2 EVから+2 EVの範囲で1/3 EVごとに表示されます。
- コマンドダイヤルを回すと、シャッタースピードを調節でき、マルチセレクターを回すと、絞り値を調節できます。



露出インジケータ

✓ 撮影時のご注意

- 露出を設定したあとにズーム操作をすると、露出の組み合わせや絞り値が変化することがあります。
- 被写体が暗すぎたり明るすぎたりすると、適切な露出が得られない場合があります。このときにシャッターボタンを半押しすると、シャッタースピード表示や絞り値表示が点滅します（**M**モード時を除く）。設定したシャッタースピード、または絞り値を変えてください。

✓ ISO感度についてのご注意

Mモード時のISO感度は、[ISO感度設定] (☐☐52) を [オート] (初期設定) または [感度制限オート] に設定すると、ISO 100に固定されます。

P、S、A、Mモードで設定できる機能

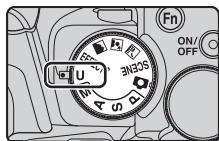
- フラッシュモード (☐☐36)
- セルフタイマー (☐☐38)
- 笑顔自動シャッター (☐☐39)
- フォーカスモード (☐☐40)
- 露出補正 (☐☐44)
- 撮影メニュー (☐☐51)
- Fn (ファンクション) ボタンで設定できる機能 (☐☐45)

U (ユーザーセッティング) モード

撮影でよく使う設定の組み合わせ (ユーザーセッティング) を **U** に登録できます。**P** (プログラムオート)、**S** (シャッター優先オート)、**A** (絞り優先オート) または **M** (マニュアル露出) で撮影できます。

モードダイヤルを回して、**U** に合わせると、**[User Setting 登録]** で登録した設定になります。

- そのまま、構図を決めて撮影するか、必要に応じて設定を変えて撮影します。
- モードダイヤルを **U** に合わせたときの設定の組み合わせは、**[User Setting 登録]** で何度でも再登録できます。



以下の設定内容を登録できます。

基本設定

- 撮影モード **P**、**S**、**A**、**M** (□□30)
- フォーカスモード* (□□40)
- ズーム位置 (□□20)
- 露出補正 (□□44)
- フラッシュモード (□□36)
- Fnボタン設定 (□□45)
- セルフタイマー (□□38)

撮影メニュー

- 画質 (□□51)
- AFエリア選択 (□□52)
- 画像サイズ (□□51)
- AFモード (□□52)
- Picture Control (□□51)
- 調光補正 (□□52)
- CSM Picture Control (□□51)
- ノイズ低減フィルター (□□52)
- ホワイトバランス (□□51)
- Active D-ライティング (□□52)
- 測光方式 (□□51)
- 多重露出 (□□52)
- 連写 (□□52)
- ズームメモリー (□□53)
- ISO感度設定 (□□52)
- 起動ポジション設定 (□□53)
- AEブラケットング (□□52)
- Mモード露出反映表示 (□□53)

Uモードに設定を登録する (User Setting 登録)

撮影でよく使う設定を変更して、**U**に登録します。

1 モードダイヤルを**U**モードに登録したい撮影モード**P**、**S**、**A**または**M**に合わせる

- ・ **U**に合わせても登録できます (ご購入時は、撮影モード**P**の初期設定が登録されています)。

2 撮影時の設定をよく使う組み合わせに変更する

- ・ 登録内容は□□34をご覧ください。
- ・ プログラムシフトの設定 (**P**のとき)、シャッタースピード (**S**、**M**のとき)、絞り値 (**A**、**M**のとき) の設定も記憶します。

3 MENU (メニュー) ボタンを押し、撮影メニューを表示する



4 マルチセレクターの ▲▼ で [User Setting 登録] を選んで、**OK** ボタンを押す

- ・ 現在の設定内容が登録されます。

P	ノイズ低減フィルター	NR
	Active D-ライティング	OFF
	多重露出	OFF
	User Setting 登録	
	User Setting リセット	
	ズームメモリー	OFF

時計用電池にご注意

内蔵の時計用電池 (□□15) が切れると、**U**に登録した設定内容がリセットされますのでご注意ください。重要な設定は、必要に応じてメモしておくことをおすすめします。


U (ユーザーセッティング) のリセットについて

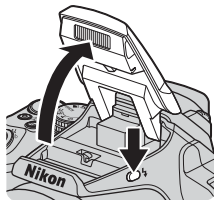
撮影メニューで [User Setting リセット] を選ぶと、ユーザーセッティングに登録された設定内容は、初期設定に戻ります。撮影モードは**P**になります。

フラッシュモード

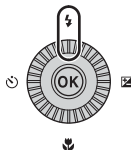
フラッシュのポップアップ時に、発光モード（フラッシュモード）を撮影状況に合わせて設定できます。

1 ⚡（フラッシュポップアップ）ボタンを押し、フラッシュをポップアップする


- ・フラッシュを閉じているときは発光禁止になり、が表示されます。



2 マルチセレクターの▲（⚡）を押し





3 フラッシュモード（37）を選び、ボタンを押し

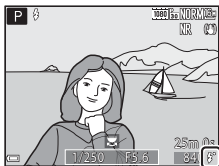
- ・ボタンを押さないまま数秒経過すると、選択はキャンセルされます。



レディーライト（フラッシュ充電表示）について






フラッシュの充電中はが点滅します。撮影できません。

充電が完了していると、シャッターボタンを半押ししたときにが点灯します。





レディーライト

フラッシュモードの種類

-  **AUTO** 自動発光
暗い場所などで、必要に応じてフラッシュを発光します。
 - ・ 撮影画面のフラッシュモードアイコンは、設定直後のみ表示されません。
-  **赤目軽減自動発光/赤目軽減発光**
フラッシュで人物の目が赤く写る「赤目現象」を軽減します (□□37)。
 - ・ [赤目軽減発光] では、常にフラッシュを発光します。
-  **強制発光/通常発光**
常にフラッシュを発光します。
-  **SLOW** スローシンクロ
夕景や夜景を背景にした人物撮影に適しています。強制発光でメインの被写体を明るく照らすと同時に、遅いシャッタースピードで背景を写します。
-  **リアシンクロ**
シャッターが閉じる直前にフラッシュを強制発光します。動いている被写体の後方に流れる光や軌跡などを表現したいときなどに適しています。

フラッシュモードの設定について

- ・ 設定できるフラッシュモードは、撮影モードによって異なります。撮影モードによっては設定できないことがあります。
- ・ 撮影モード**P**、**S**、**A**、**M**、**U**の場合は、自動発光は選べません。
- ・ 以下の場合、設定は電源をOFFにしても記憶されます。
 - 撮影モード**P**、**S**、**A**、**M**の場合
 -  (オート撮影) モードで、 (赤目軽減自動発光) にして撮影した場合

赤目軽減自動発光/赤目軽減発光について

フラッシュが本発光する前に、赤目軽減ランプが発光し、赤目現象の発生を軽減します。さらに、画像の記録時に赤目現象を検出すると、赤目部分を画像補正して記録します。

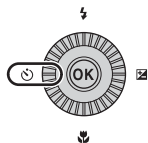
撮影する際は、以下にご注意ください。

- ・ 赤目軽減ランプが発光するため、シャッターボタンを押してからシャッターがきれるまでに、通常よりも時間がかかります。
- ・ 画像の記録にかかる時間は、通常よりも少し長くなります。
- ・ 撮影状況によっては、望ましい結果を得られないことがあります。
- ・ まれに赤目以外の部分を補正することがあります。この場合は、他のフラッシュモードにして撮影し直してください。

セルフタイマー

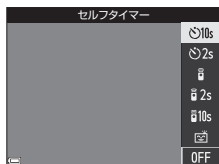
シャッターボタンを押してから10秒または2秒後にシャッターをきります。三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニュー (□57) の [手ブレ補正] を [しない] にしてください。

1 マルチセレクターの ◀ (☺) を押す



2 セルフタイマーモードを選び、OK ボタンを押す

- [☺10s] (10 秒) : 記念撮影などに適しています。
- [☺2s] (2 秒) : 手ブレの軽減に適しています。
- [☺] / [☺ 10s] (10秒) / [☺ 2s] (2秒) : リモコン ML-L3 (別売) を使ってシャッターをきることができます。
- OK ボタンを押さないまま数秒経過すると、選択はキャンセルされます。
- 撮影モードがシーンモードの [ペット] のときは、☺ (ペット自動シャッター) が表示されます。セルフタイマーは使えません。

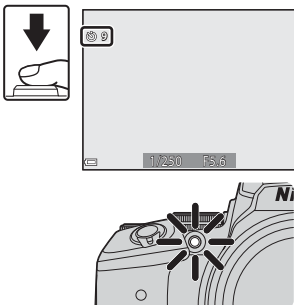


3 構図を決め、シャッターボタンを半押しする

- ピントと露出が合います。

4 シャッターボタンを全押しする

- ・ カウントダウンが始まります。セルフタイマーランプが点滅し、シャッターがきれる約1秒前になると、点灯に変わります。
- ・ シャッターがきれると、セルフタイマーは [OFF] になります。
- ・ カウントダウンを止めるには、もう一度シャッターボタンを押します。



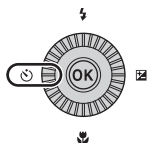
笑顔自動シャッター(笑顔を自動撮影する)

カメラが人物の笑顔を検出すると、シャッターボタンを押さなくても自動でシャッターがきれます。

- ・ 撮影モードが (オート撮影)、**P**、**S**、**A**、**M**、**U**、シーンモードの [ポートレート] または [夜景ポートレート] のときに使えます。

1 マルチセレクターの () を押す

- ・ フラッシュモード、露出、撮影メニューなどを設定するときは、 を押す前に設定してください。



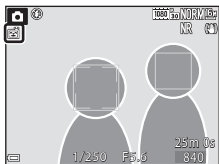
2 (笑顔自動シャッター) を選び、 ボタンを押す

- ・ ボタンを押さないまま数秒経過すると、選択はキャンセルされます。



3 構図を決め、シャッターボタンを押さずに笑顔を待つ

- 人物の顔にカメラを向けてください。
- カメラが二重枠で囲まれた人物の笑顔を検出すると、自動的にシャッターがきれます。
- 笑顔を検出するたびに自動撮影を繰り返します。



4 自動撮影を終了する

- 笑顔検出による自動撮影を終了するには、手順1に戻って [OFF] を選びます。

✓ 笑顔自動シャッターについてのご注意

撮影条件などによっては、適切に顔認識や笑顔検出ができないことがあります。シャッターボタンを押しても撮影できます。

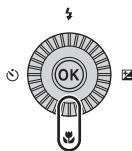
📎 セルフタイマーランプの点滅について

笑顔自動シャッターでは、カメラが顔を認識すると点滅し、シャッターがきれた直後は速く点滅します。

フォーカスモード

フォーカスモードは、被写体との距離によって設定します。

1 マルチセレクターの▼ (👇) を押す



2 フォーカスモードを選び、OKボタンを押す

- OKボタンを押さないまま数秒経過すると、選択はキャンセルされます。





フォーカスモードの種類

AF 通常AF

被写体までの距離に応じて自動的にピントを合わせます。
レンズから50 cm以上（最も望遠側の場合は5.0 m以上）離れた被写体を撮影するときに使います。

- ・ 撮影画面のフォーカスモードアイコンは、設定直後のみ表示されます。

マクロAF

被写体に近づいて撮影するときに設定します。
マークやズーム表示が緑色で表示されるズーム位置では、レンズ前約10 cm、マークのズーム位置では、レンズ前約1 cmの被写体からピント合わせができます。


遠景AF

窓越しの景色や風景、建物などを撮影するときに使います。
無限遠付近でピントを合わせます。
・ 近くの被写体にはピントが合わないことがあります。

無限遠固定

空や打ち上げ花火などを撮影するときに使います。

MF マニュアルフォーカス

レンズ前約1 cm～無限遠（∞）の任意の被写体にピントを合わせられます（42）。最短撮影距離は、ズーム位置によって異なります。

フラッシュ撮影についてのご注意



撮影距離が50 cm未満の場合、フラッシュの光が充分に行き渡らないことがあります。

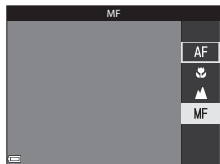
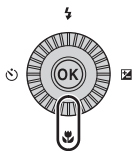
フォーカスモードの設定について

- ・ 撮影モードによって、設定できないことがあります。
- ・ 撮影モード**P**、**S**、**A**、**M**の場合、設定は電源をOFFにしても記憶されます。






マニュアルフォーカスの使い方

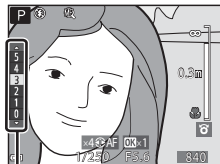
撮影モードが**P**、**S**、**A**、**M**、**U**、スペシャルエフェクトモード、シーンモードの**[スポーツ]**、**[打ち上げ花火]**、**[鳥]**、**[タイムラプス動画]**（星空、星軌跡）のときに使えます。

- 1 マルチセレクターの▼
() を押し、MF（マニュアルフォーカス）を選んで、 ボタンを押す





- 2 拡大表示で確認しながら、マルチセレクターでピントを合わせる

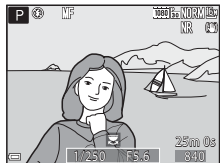
- ・画像中央部が拡大表示されます。拡大率は、 を押しと2倍または4倍に切り換わります。
- ・マルチセレクターを時計回りに回すと近くに、反時計回りに回すと遠くにピントが合います。ゆっくり回すかコマンドダイヤルを回すと、より細かくピント合わせができます。
- ・ を押しと、画面中央の被写体にオートフォーカスします。オートフォーカスでピントを合わせてから、マニュアルフォーカスの操作ができます。
- ・ピントが合った箇所は、白色で強調（ピーキング）表示し、ピント合わせを補助します（43）。  を押しと、ピーキングレベルを調節できます。
- ・シャッターボタンを半押しすると構図を確認できます。そのまま全押しすると撮影ができます。



ピーキングレベル

- 3  ボタンを押す

- ・設定したピントに固定されます。
- ・シャッターボタンを全押しすると撮影できます。
- ・設定したピントを変更するときは、 ボタンを押して手順2の画面を表示します。



MF（マニュアルフォーカス）について

- 手順2で画面右のゲージに表示される数字は、ゲージを中央付近にしたときにピントが合う距離の目安です。
- 実際にピントが合う範囲は、絞り値やズーム位置によって異なります。ピントが合っているかどうかは、撮影後の画像で確認してください。
- セットアップメニュー（□57）の[サイドズームレバー設定]を[MFレバー]にすると、手順2でマルチセレクターのかわりにサイドズームレバーでもピント合わせができます。

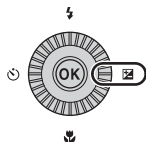
ピーキングについて

- ピーキングレベルを調節すると、ピントが合っていると見なす範囲を変更できます。コントラストの高い被写体では弱めに、低い被写体では強めに設定すると効果的です。
- ピーキングでは、画像のコントラストが高い部分を白色で強調します。撮影条件によっては、適切に強調できないことや、ピントの合っていない部分を強調して表示することがあります。
- セットアップメニュー（□57）の[ピーキング]でピーキング表示しない設定にできます。

露出補正（明るさを調節する）

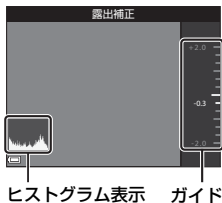
画像全体の明るさを調節できます。

1 マルチセレクターの▶ (☒) を押す



2 補正值を選び、OKボタンを押す

- ・ 明るくする：「+」側に設定します。
- ・ 暗くする：「-」側に設定します。
- ・ OKボタンを押さなくても、補正值が設定されます。



📌 露出補正の設定について

- ・ **P**、**S**、**A**モードの場合、設定は、電源をOFFにしても記憶されます。
- ・ 撮影モードが、シーンモードの [打ち上げ花火] または **M** (マニュアル露出) モード (📖32) の場合、露出補正は使えません。
- ・ フラッシュ使用時に露出補正を設定した場合は、背景露出とフラッシュの発光量の両方が補正されます。

📌 ヒストグラム表示について

ヒストグラムは、画像の明るさの分布を表すグラフです。フラッシュを使わない撮影で、露出を補正するときの目安になります。

- ・ 横軸は輝度を示し、左へ行くほど暗くなり、右へ行くほど明るくなります。縦軸は画素数を示します。
- ・ 露出補正を「+」側にすれば山が右側に寄り、「-」側にすれば山が左側に寄ります。


Fn (ファンクション) ボタンで設定できる機能

以下の機能は、MENU (メニュー) ボタンを押してメニューを表示する代わりに、Fnボタンを押しても設定できます。

- 撮影モードが**P**、**S**、**A**、**M**、**U**のときに使えます。



画質 (□□51)	連写 (□□52)
画像サイズ (□□51)	ISO感度設定 (□□52)
Picture Control (□□51)	AFエリア選択 (□□52)
ホワイトバランス (□□51)	手ブレ補正 (□□57)
測光方式 (□□51)	

1 撮影画面で、Fn (ファンクション) ボタンを押す

- 最後に設定した機能の設定項目 (初期設定は [連写]) と  [Fnボタン設定] を選べます。



2 マルチセレクターでメニュー項目を選ぶ

- 他の機能を設定するには、 [Fn ボタン設定] を選んで  ボタンを押します。表示されるメニューから設定したい機能を選びます。







3 設定が終わったら、 ボタンまたはFnボタンを押す















- 撮影画面に戻ります。

撮影時に組み合わせて使えない機能

他のメニュー設定と組み合わせて使えない機能があります。

制限される機能	設定	内容
フラッシュモード	フォーカスモード (□□40)	▲ (遠景AF) または ∞ (無限遠固定) にすると、フラッシュは使えません。
	連写 (□□52)	フラッシュは使えません ([インターバル撮影] を除く)。
	AEブラケットング (□□52)	フラッシュは使えません。
セルフタイマー/ リモコン/笑顔自動 シャッター	フォーカスモード (□□40)	AF (通常AF) 以外にすると、笑顔自動シャッターは [OFF] になります。
	AFエリア選択 (□□52)	[ターゲット追尾] にすると、セルフタイマー/笑顔自動シャッター/リモコンは使えません。
フォーカスモード	笑顔自動シャッター (□□39)	笑顔自動シャッターにすると、AF (通常AF) に固定されます。
	AFエリア選択 (□□52)	[ターゲット追尾] にすると、MF (マニュアルフォーカス) は設定できません。
画質	連写 (□□52)	[先取り撮影] にすると、[NORMAL] に固定されます。
画像サイズ	連写 (□□52)	連写の設定によって、[画像サイズ] は以下に固定されます。 <ul style="list-style-type: none"> • [先取り撮影] 時：  (1280×960 ピクセル) • [高速連写 120 fps] 時：  (640×480 ピクセル) • [高速連写 60 fps] 時：  (1920×1080 ピクセル) • [マルチ連写] 時：  (2560×1920 ピクセル)
Picture Control	AFエリア選択 (□□52)	[ターゲット追尾] にすると、[モノクローム] を設定できません。
	Active D-ライティング (□□52)	[Active D-ライティング] を使うときは、「手動調整」の [コントラスト] を調整できません。
ホワイトバランス	Picture Control (□□51)	[モノクローム] にすると、[ホワイトバランス] は [オート (標準)] に固定されます。
測光方式	Active D-ライティング (□□52)	[Active D-ライティング] を [しない] 以外にすると、[測光方式] は [マルチパターン] にリセットされます。

制限される機能	設定	内容
連写/AEブラケットング	連写 (□52) / AEブラケットング (□52)	[連写] と [AEブラケットング] は同時に使えません。
	セルフタイマー (□38) / リモコン	<ul style="list-style-type: none"> • [連写 H]、[連写 L]、[先取り撮影]、または [BSS] に設定しても、セルフタイマー/リモコンを使うと1コマずつの撮影になります。インターバル撮影は、1コマで終了します。 • [AEブラケットング] は使えません。
	笑顔自動シャッター (□39)	<ul style="list-style-type: none"> • 笑顔検出してシャッターがきれた場合、1コマのみの撮影になります。インターバル撮影は、1コマで終了します。 • [AEブラケットング] は使えません。
	Picture Control (□51)	[モノクローム] にすると、[AEブラケットング] は使えません。
	多重露出 (□52)	同時に使えません。
ISO感度設定	連写 (□52)	[先取り撮影]、[マルチ連写]、[高速連写 120 fps]、[高速連写 60 fps] にすると、[ISO感度設定] は [オート] に固定されます。
AFエリア選択	笑顔自動シャッター (□39)	[AFエリア選択] の設定にかかわらず、顔認識撮影になります。
	フォーカスモード (□40)	<ul style="list-style-type: none"> • [ターゲット追尾] 以外に設定したときにフォーカスモードを ▲ (遠景 AF) にすると、[AF エリア選択] の設定にかかわらず、遠景にピントが合います。 • MF (マニュアルフォーカス) にすると、[AF エリア選択] を設定できません。
	Picture Control (□51)	[モノクローム] にすると、[ターゲット追尾] を設定できません。
	ホワイトバランス (□51)	[ターゲットファインドAF] 時、[オート (標準)] 以外に設定すると、顔、または9つあるAFエリアのうち、最も手前の被写体をとらえているAFエリアでピントが合います。










制限される機能	設定	内容
AFモード	笑顔自動シャッター ( 39)	笑顔自動シャッターのときは、[シングルAF] で動作します。
	フォーカスモード ( 40)	フォーカスモードを▲(遠景AF) にすると、[シングルAF] で動作します。
アクティブ D- ライティング	ISO感度設定 ( 52)	[ISO感度設定] が [1600]、[3200]、[6400] のときは、[Active D-ライティング] は使えません。
多重露出	連写 ( 52)	同時に使えません。
	AEブラケットिंग ( 52)	同時に使えません。
モニター設定	笑顔自動シャッター ( 39)	笑顔自動シャッターのときは、水準器は表示されません。
	AFエリア選択 ( 52)	<ul style="list-style-type: none"> • [顔認識オート] のときは、水準器は表示されません。 • [ターゲット追尾] のときは、水準器は表示されません。また、ターゲット登録後 (追尾中) は、ヒストグラムは表示されません。 • [ターゲットファインド AF] のときは、水準器とヒストグラムは表示されません。
日付写し込み	連写 ( 52)	[先取り撮影]、[高速連写 120 fps]、[高速連写 60 fps] にすると、日時を写し込めません。
電子ズーム	笑顔自動シャッター ( 39)	笑顔自動シャッターにすると、電子ズームは使えません。
	連写 ( 52)	[マルチ連写] にすると、電子ズームは使えません。
	AFエリア選択 ( 52)	[ターゲット追尾] にすると、電子ズームは使えません。
	ズームメモリー ( 53)	[ズームメモリー] を [ON] にすると、電子ズームは使えません。
シャッター音	連写 ( 52)	[連写H]、[連写L]、[先取り撮影]、[高速連写 120 fps]、[高速連写 60 fps]、[BSS] または [マルチ連写] にすると、シャッター音は鳴りません。
	AEブラケットिंग ( 52)	シャッター音は鳴りません。

電子ズームについてのご注意

- 撮影モードや設定によっては、電子ズームを使えません。
- 電子ズーム使用時は、AFエリア選択や測光方式などが制限されます。

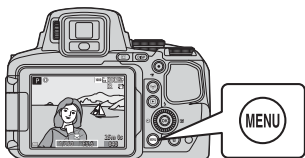
MENU (メニュー) ボタンで設定できる機能

MENU (メニュー) ボタンを押すと、以下のメニューを設定できます。

- ・ 、SCENE、、、、EFFECTS、P、S、A、M、U 撮影メニュー
 撮影画面でMENU ボタンを押すと設定できます。
 画像サイズと画質の組み合わせなど、撮影時の設定を変更できます。
 メニューアイコンと設定できる項目は、撮影モードによって異なります。
- ・  再生メニュー
 1コマ表示中またはサムネイル表示中にMENU ボタンを押すと設定できます。
 画像の編集や、スライドショーの再生などができます。
- ・  動画メニュー
 撮影画面でMENU ボタンを押すと設定できます。
 動画撮影についての設定ができます。
- ・  Wi-Fi設定メニュー
 カメラとスマートデバイスを接続する設定ができます。
- ・  位置情報設定メニュー
 位置情報機能に関する設定ができます。
 [位置情報設定] の [位置情報記録機能] を [する] にすると、測位衛星の電波の受信を開始します。
- ・  セットアップメニュー
 日時や表示言語など、カメラに関する基本的な設定ができます。

1 MENU (メニュー) ボタンを押す

- ・ メニュー画面が表示されます。



2 マルチセレクターの◀を押し

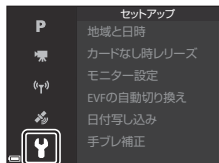
- メニューアイコンが黄色で表示されます。



メニュー切り換えアイコン

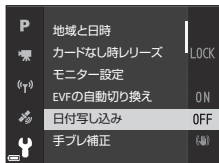
3 メニューアイコンを選び、OKボタンを押し

- メニュー項目が選べるようになります。



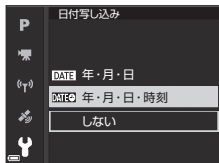
4 メニュー項目を選び、OKボタンを押し

- 撮影モードやカメラの状態によって、設定できないメニュー項目があります。
- マルチセレクターを回しても項目を選べます。



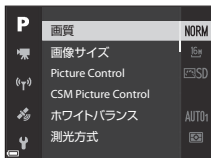
5 設定内容を選び、OKボタンを押し

- 選んだ設定内容が決定します。
- メニュー操作を終了するには、MENU ボタンを押してください。
- メニュー画面から撮影画面にするには、シャッターボタンまたは● (●) ボタンを押してください。



撮影メニュー

撮影画面にする → MENU ボタン



撮影モード共通

項目	内容
画質	記録する画質（画像の圧縮率）を設定します。 • 初期設定：[NORMAL]
画像サイズ	記録する画像サイズ（画像の大きさ）を設定します。 • 初期設定：[4608x3456]

P、S、A、M、Uモード

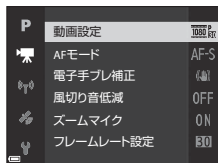
項目	内容
Picture Control (COOLPIXピクチャーコントロール)	撮影状況や好みに合わせて、記録する画像の画（え）作りを設定できます。 • 初期設定：[スタンダード]
CSM Picture Control (COOLPIXカスタムピクチャーコントロール)	「COOLPIXピクチャーコントロール」の設定を調節（カスタマイズ）して、[Picture Control]の[CUSTOM1]または[CUSTOM2]に登録します。
ホワイトバランス	画像を見た目に近い色で記録するように、天候や光源に合わせて設定します。 • 初期設定：[オート（標準）]
測光方式	被写体の明るさを測定する方式を設定します。 • 初期設定：[マルチパターン]

項目	内容
連写	単写または連続撮影の設定をします。 <ul style="list-style-type: none"> 初期設定：[単写]
ISO感度設定	被写体の明るさに応じて、ISO感度を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 初期設定：[オート] [オート]では、ISO感度が高くなると、撮影画面に ISO が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> M (マニュアル露出) モードのときに [オート] または [感度制限オート] に設定すると、ISO感度は ISO 100 に固定されます。
AEブラケティング	露出 (明るさ) を自動的に変えながら連続撮影できます。 <ul style="list-style-type: none"> 初期設定：[しない]
AFエリア選択	AF (オートフォーカス) でピント合わせをするエリアの決め方を変更します。 <ul style="list-style-type: none"> 初期設定：[ターゲットファインド AF]
AFモード	シャッターボタンを半押ししたときのみピント合わせを行う [シングルAF]、または半押ししていないときもピント合わせを行う [常時AF] に設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 初期設定：[常時 AF]
調光補正	フラッシュの発光量を補正します。 <ul style="list-style-type: none"> 初期設定：[0.0]
ノイズ低減フィルター	画像の記録時に通常行うノイズ低減機能の強さを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 初期設定：[標準]
Active D-ライティング	ハイライトの白とびを抑え、暗部の黒つぶれを軽減し、見た目のコントラストに近い画像で撮影します。 <ul style="list-style-type: none"> 初期設定：[しない]
多重露出	2~3コマの画像を重ねて、ひとつの画像として記録できます。 <ul style="list-style-type: none"> 初期設定： <ul style="list-style-type: none"> - 多重露出モード：[しない] - 自動ゲイン補正：[する]
User Setting 登録	現在の設定をモードダイヤル U (□34) に登録します。
User Setting リセット	モードダイヤル U に登録した設定内容をリセットします。

項目	内容
ズームメモリー	ズームレバーを動かすと、この設定でチェックボックスをオンにしたズーム位置(35mm判換算の焦点距離/撮影画角)に切り換わります。 • 初期設定：[しない]
起動ポジション設定	電源をONにしたときのズーム位置(35mm判換算の焦点距離/撮影画角)を設定します。 • 初期設定：[24 mm]
Mモード露出反映表示	M (マニュアル露出)モードで露出を変えたときに、撮影画面にも明るさを反映するかどうかを設定します。 • 初期設定：[しない]

動画メニュー

撮影画面にする → MENU ボタン → 動画メニューアイコン → OK ボタン



項目	内容
動画設定	<p>撮影する動画の種類を選びます。 通常速度の動画と、再生するとスローモーションや早送りになるHS（ハイスピード）動画があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 初期設定：1080p [1080/30p] または 1080p [1080/25p]
AFモード	<p>動画撮影開始時のピントに固定する [シングルAF]、または動画撮影中にピント合わせを繰り返す [常時AF] に設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 初期設定：[シングルAF]
電子手ブレ補正	<p>動画撮影時に電子手ブレ補正を行うかどうかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 初期設定：[する]
風切り音低減	<p>動画撮影時に風切り音を低減するかどうかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 初期設定：[しない]
ズームマイク	<p>画角（写る範囲）に応じて、広角側では広い範囲、望遠側では狭い範囲の音を録音します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 初期設定：[する]
フレームレート設定	<p>動画撮影時のフレームレートを選びます。</p>

再生メニュー

▶ ボタンを押す（再生モード）→ MENU ボタン



項目	内容
Wi-Fi 送信画像の指定 ※1	スマートデバイスに取り込みたい画像を、あらかじめカメラで選びます。
簡単レタッチ ※2	コントラストと色の鮮やかさを高めた画像を簡単に作成します。
D-ライティング ※2	逆光やフラッシュの光量不足などで暗くなった被写体を、明るく補正できます。
美肌 ※2	撮影した画像から人物の顔を検出して、顔の肌をなめらかにします。
フィルター効果 ※2	デジタルフィルターでいろいろな効果を付けます。
スライドショー	画像を1コマずつ順番に自動再生します。
プロテクト設定 ※1	大切な画像や動画を誤って削除しないように、保護します。
画像回転 ※1	表示画像を縦位置または横位置に回転します。
スモールピクチャー ※2	サイズの小さい画像を作成します。
連写グループ表示 方法	連写した一連の画像を1コマずつ表示するか、代表画像のみの表示にするかを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 代表画像の表示中に OK ボタンを押すと、1コマずつ表示します。マルチセレクターの ▲ を押すと、代表画像に戻ります。

項目	内容
連写の代表画像選択 ※1	連写した一連の画像の代表画像を変更します。

※1 画像選択の画面で、画像を選びます。→「画像選択画面の操作方法」(□56)

※2 編集した画像は、元画像とは別に保存されます。画像によっては編集できない場合があります。

画像選択画面の操作方法

操作中に右のような画像選択画面が表示されたときは、以下の手順で画像を選びます。



1 マルチセクターの◀▶または回転で画像を選ぶ

- ・ズームレバー (□1) を T (Q) 側に動かすと1コマ表示に、W (R) 側に動かすと一覧表示に切り換わります。
- ・[画像回転]、[連写の代表画像選択] の画像選択では、1画像しか選べません。
→手順3へ



2 ▲▼でON/OFFを設定する



- ・ONにすると、選択画像の下にアイコンが表示されます。複数の画像に設定したいときは、手順1と2を繰り返します。

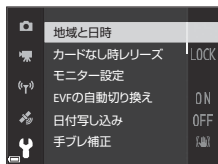


3 OKボタンを押して画像選択を決定する

- ・確認画面が表示されたときは、表示内容に従って操作してください。

セットアップメニュー

MENUボタンを押す → メニューアイコン → ボタン



項目	内容
地域と日時	内蔵時計を合わせます。
カードなし時リリース	カメラにメモリーカードが入っていないときの、シャッターボタンの動作を設定します。
モニター設定	撮影後の画像表示、画面の明るさ、モニター表示設定などを設定します。
EVFの自動切り換え	電子ビューファインダーに顔を近づけると、自動的に電子ビューファインダーの表示に切り換えるかどうかを設定します。
日付写し込み	撮影日時を画像に写し込む設定ができます。
手ブレ補正	撮影時の手ブレ補正を設定します。
AF補助光	AF補助光の点灯/非点灯を設定します。
電子ズーム	電子ズームを使用するかどうかを設定します。
サイドズームレバー設定	撮影時にサイドズームレバーを操作したときの動作を設定します。
操作音	操作音について設定します。
オートパワーオフ	節電のために液晶モニターが消灯するまでの時間を設定します。
カードの初期化	メモリーカードを初期化(フォーマット)します。
言語/Language	画面に表示する言語を設定します。
パソコン接続充電	パソコンと接続したときに、カメラ内の電池を充電するかどうかを設定します。
Av/Tv操作切り換え	プログラムシフト、シャッタースピードまたは絞り値の設定方法を切り換えます。

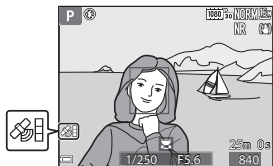
項目	内容
連番リセット	[[はい] を選ぶと、ファイル番号の連番をリセットします。
ピーキング	マニュアルフォーカス時のモニター画面で、ピントが合った箇所を白色で強調するかどうかを設定します。
設定クリアー	カメラの設定を初期設定にリセットします。
バージョン情報	カメラのファームウェアのバージョン情報を表示します。

位置情報機能を使う

✎ (位置情報設定) メニューで [位置情報設定] の [位置情報記録機能] を [する] にすると、測位衛星の電波の受信を開始します。

受信状態は、撮影画面で確認できます。

- 4つまたは3つの衛星から受信して、位置情報を測位しています。
- 1つ：電波を受信していますが、測位できていません。
- 0：電波を受信していません。



撮影地点の位置情報を画像に記録する

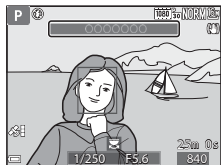
- カメラが測位している状態で撮影すると、画像に位置情報 (緯度・経度) を記録します。
- 記録した位置情報は、画像をパソコンに取り込み後、ViewNX-iを使って地図上で確認できます。

ログを記録する

- 測位した状態で位置情報設定メニュー [ログ取得] の [ログ取得開始] を選ぶと、カメラを持って移動した場所の位置情報を一定間隔で記録します。
- 記録したログは、位置情報設定メニューの [ログ保存] でメモリーカードに保存した後、ログデータを表示できるソフトウェアなどで閲覧します。
- ログデータは、NMEA フォーマットに準拠しています。ただし、すべてのソフトウェアやカメラでの表示を保証するものではありません。

POI情報を表示する

- 位置情報設定メニュー [POI設定] の [POI記録] を [する] にすると、現在地に最も近い地名情報も、撮影する画像に記録します。
- 位置情報設定メニューの [POI表示設定] を [する] にすると、撮影画面では現在地に最も近い地名情報を表示し、再生画面では画像に記録した地名情報を表示します。



Wi-Fi（無線LAN）を使う

Android OSまたはiOSのスマートデバイスに専用ソフトウェア「Wireless Mobile Utility」をインストールしてカメラと接続すると、以下の操作ができます。

写真を撮る

カメラのシャッターボタンを押すか、またはスマートデバイスからのリモート操作でカメラのシャッターをきり、画像をスマートデバイスに取り込みます。

- ・ リモート操作中はカメラの操作はできません。カメラ側の設定にかかわらず、撮影モードは📷（オート撮影）モード、AFエリアは中央になります。

写真を見る

カメラのメモリーカードに保存した画像を、スマートデバイスに表示して取り込みます。カメラであらかじめ指定した画像をスマートデバイスに取り込むこともできます。

📌 ご注意

ご購入時はパスワードなどのセキュリティは設定されていません。お客様の判断と責任で、必要なセキュリティをWi-Fi設定メニュー（📄49）の【設定】で設定してからお使いください。

スマートデバイスにソフトウェアをインストールする

1 スマートデバイスでGoogle PlayストアやApp Storeなどに接続して、「Wireless Mobile Utility」を検索する

- ・ 詳しくは、お使いのスマートデバイスの説明書をご覧ください。

2 説明や情報を確認し、インストールする

📎 Wireless Mobile Utilityの説明書について

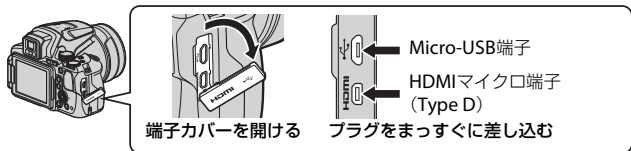
下記のウェブサイトからダウンロードしてください。

- ・ Android OS : <http://nikonimglib.com/ManDL/WMAU/>
- ・ iOS : <http://nikonimglib.com/ManDL/WMAU-ios/>

カメラと接続するには、カメラの📶（Wi-Fi）ボタンを押してから、スマートデバイスのWi-Fi設定をONにし、ネゴシエーション中に「Wireless Mobile Utility」を起動します。

テレビ、プリンター、パソコンとの接続

テレビやプリンター、パソコンに接続すると、撮影した画像や動画をいろいろな方法で楽しむことができます。



- 外部機器と接続するときは、カメラの電池残量が充分にあることを確認し、必ず、カメラの電源をOFFにしてから接続してください。接続を外すときは、カメラの電源をOFFにしてからプラグを外してください。
- 別売のACアダプター EH-67Aを使うと、家庭用コンセントからこのカメラへ電源を供給できます。EH-67A以外のACアダプターは絶対に使用しないでください。カメラの故障、発熱の原因になります。
- 接続方法や接続後の操作方法については、各機器の説明書もあわせてお読みください。

テレビで鑑賞する



撮影した画像や動画をテレビに映して鑑賞できます。
接続方法：市販のHDMIケーブルをテレビのHDMI入力端子に接続します。

パソコンを使わずにプリントする



PictBridge対応プリンターと接続すると、パソコンを使わずに画像をプリントできます。
接続方法：USBケーブルをプリンターのUSB端子に接続します。

パソコンで閲覧する



パソコンに画像を取り込んで、閲覧ができます。
接続方法：USBケーブルをパソコンのUSB端子に接続します。

- パソコンと接続する前に ViewNX-i をパソコンにインストールしてください。
- パソコンから電源を供給するタイプの他の USB 機器がパソコンに接続されているときは、接続する前にそれらの機器をパソコンから取り外してください。同時に接続すると動作に不具合が発生したり、パソコンからの供給電力が過大になり、カメラ、メモリーカードなどが壊れるおそれがあります。



付録、索引

取り扱い上のご注意	☀:2
カメラについて	☀:2
電池について	☀:3
本体充電 AC アダプターについて	☀:4
メモリーカードについて	☀:5
お手入れ方法	☀:6
クリーニングについて	☀:6
保管について	☀:6
故障かな?と思ったら	☀:7
主な仕様	☀:16
使用できるメモリーカード	☀:20
地名情報データ使用許諾契約書	☀:22
索引	☀:28
修理サービスのご案内	☀:34
ニコンプラザについて	☀:35

取り扱い上のご注意

お使いになるときは、必ず「安全上のご注意」(□vii～xii)をお守りください。

カメラについて

● 強いショックを与えないでください

カメラを落としたり、ぶつけたりすると、故障の原因になります。また、レンズに触れたり、無理な力を加えたりしないでください。

● 水に濡らさないでください

カメラ内部に水が入ると、部品がサビつくなど修理費用が高額になるだけでなく、修理不能になることがあります。

● 急激な温度変化を与えないでください

温度差が極端な場所（寒いところから急激に暖かいところや、その逆の場合）にカメラを持ち込むと、カメラ内外に結露が生じ、故障の原因になります。カメラをバッグやビニール袋などに入れて、周囲の温度になじませてから使ってください。

● 強い電波や磁気を発生する場所で撮影しないでください

強い電波や磁気を発生するテレビ塔などの周囲および強い静電気の周囲では、記録データが消滅したり、カメラが正常に機能しないことがあります。

● 長時間、太陽に向けて撮影または放置しないでください

太陽などの高輝度被写体に向けて長時間直接撮影したり、放置したりしないでください。過度の光照射は、撮像素子などの褪色・焼き付きを起こすおそれがあります。また、その際に撮影した画像には、真っ白くにじみが生ずることがあります。

● 電池やACアダプターやメモリーカードを取り外すときは、必ず電源をOFFにしてください

電源がONの状態を取り外すと、故障の原因になります。特に、撮影中やデータの削除中は、データの破損やメモリーカードの故障の原因になります。

● モニター画面（電子ビューファインダー含む）について

・モニター画面（電子ビューファインダー含む）は、非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効ドットがありますが、0.01%以下でドット抜けするものがあります。そのため、常時点灯（白、赤、青、緑）あるいは非点灯（黒）の画素が一部存在することがありますが、故障ではありません。また、記録される画像には影響ありません。あらかじめご了承ください。

・屋外では液晶モニターは、日差しの影響で見えにくいことがあります。

・液晶モニターの表面を強くこすったり、強く押したりすると、破損や故障の原因になります。万一、液晶モニターが破損した場合は、ガラスの破片などでケガをするおそれがありますのでご注意ください。また、中の液晶が皮膚や目に付着したり、口に入ったりしないようご注意ください。

● レンズ先端に市販のステップアップリングなどを取り付けしないでください

付属のレンズキャップまたは当社製67mmネジ込み式フィルター以外のアクセサリを取り付けると、故障の原因になります。

電池について

● 使用上のご注意

- ・ 使用後の電池は、発熱していることがあるのでご注意ください。
- ・ 周囲の温度が0℃～40℃の範囲を超える場所で使うと、性能劣化や故障の原因になります。
- ・ 万一、異常に熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常や不具合が起きたら、すぐに使用を中止して、ご購入店またはニコンサービス機関に修理を依頼してください。
- ・ カメラやバッテリーチャージャーから取り外したときは、ビニール袋などに入れて絶縁してください。

● 充電について

撮影の前に充電してください。付属の電池は、ご購入時にはフル充電されておりません。

- ・ 周囲の温度が5℃～35℃の室内で充電してください。
- ・ 電池内部の温度が高い状態では、充電ができなかったり、不完全な充電になったりし、性能劣化の原因にもなります。カメラの使用直後など、電池内部の温度が高くなっているときは、電池の温度が下がるのを待ってから充電してください。

このカメラを本体充電ACアダプターまたはパソコンに接続して充電する場合、電池の温度が0℃以下、50℃以上のときは、充電をしません。

- ・ 充電が完了した電池を、続けて再充電すると、性能が劣化します。
- ・ 充電直後に電池の温度が上がることがありますが、性能その他に異常はありません。

● 予備電池を用意する

撮影環境に応じて、予備電池をご用意ください。地域によっては入手が困難な場合があります。

● 低温時には残量のじゅうぶんな電池を使い、予備電池も用意する

電池は一般的な特性として、性能が低温時に低下します。低温時には、電池およびカメラを冷やさないようにしてください。

消耗した電池を低温時に使うと、カメラが動かないこともあります。予備の電池は保温し、交互にあたためながらお使いください。低温で一時的に使えなかった電池も、常温に戻ると使える場合があります。

● 電池の接点について

電池の接点が汚れると、接触不良でカメラが作動しなくなることがあります。接点の汚れは、乾いた布で拭き取ってください。

● 残量のなくなった電池は充電する

残量のなくなった電池をカメラに入れたまま、何度も電源スイッチのON/OFFを繰り返すと、電池の寿命に影響をおよぼすおそれがあります。残量がなくなった電池は、充電してからお使いください。

● 保管について

- 電池を使わないときは、必ずカメラやバッテリーチャージャーから取り出してください。取り付けただまにすると、電源を切っていても微小電流が流れ続けて過放電状態になり、使えなくなることがあります。
- 電池は、長期間使わないときでも必ず半年に1回は充電し、使い切った状態で保管してください。
- 電池は、ビニール袋などに入れて絶縁し、涼しい場所で保管してください。周囲の温度が15℃～25℃くらいの乾燥した場所をおすすめします。暑い場所や極端に寒い場所は避けてください。

● 寿命について

電池をじゅうぶんに充電しても、使用期間が極端に短くなってきたときは、寿命です。新しい電池をお買い求めください。

● リサイクルについて



充電を繰り返して劣化し、使えなくなった電池は、廃棄しないでリサイクルにご協力ください。接点部にビニールテープなどを貼り付けて絶縁してから、ニコンサービス機関やリサイクル協力店へお持ちください。

Li-ion 00

数字の有無と数値は電池によって異なります。

本体充電ACアダプターについて

- 本体充電ACアダプター EH-71P/EH-73Pに対応している機器以外で使わないでください。
- UC-E21以外のUSBケーブルは絶対に使わないでください。発熱、火災、感電の原因になります。
- EH-71P/EH-73P以外の本体充電ACアダプター、市販のUSB-ACアダプター、携帯電話用充電器は絶対に使わないでください。カメラの故障、発熱の原因になります。
- EH-71P/EH-73Pは、家庭用電源のAC 100 - 240 V、50/60 Hzに対応しています。日本国外では、必要に応じて市販の変換プラグアダプターを装着してお使いください。変換プラグアダプターは、あらかじめ旅行代理店などで確かめのうえ、お買い求めください。

メモリーカードについて

● 使用上のご注意

- ・メモリーカードは、SD/SDHC/SDXCメモリーカード以外は使えません。使用できるメモリーカード → 20
- ・お使いになるときは、必ずメモリーカードの説明書の注意事項をお守りください。
- ・ラベルやシールを貼らないでください。

● 初期化について

- ・メモリーカードをパソコンで初期化（フォーマット）しないでください。
- ・他の機器で使ったメモリーカードをこのカメラではじめて使うときは、必ずこのカメラで初期化してください。
未使用のメモリーカードは、このカメラで初期化してからお使いになるようおすすめします。
- ・メモリーカードを初期化すると、メモリーカード内のデータは、すべて削除されます。初期化する前に、必要なデータはパソコンなどに保存してください。
- ・メモリーカードを入れたあとにカメラに「このカードは初期化されていません。初期化しますか？」の警告メッセージが表示されたときは初期化が必要です。削除したくないデータがある場合は、[いいえ]を選んでください。必要なデータはパソコンなどに保存してください。メモリーカードを初期化してよければ、[はい]を選んで **OK** ボタンを押してください。
- ・初期化中、画像の記録中や削除中、パソコンとの通信中などに以下の操作をすると、データの破損やメモリーカードの故障の原因になります。
 - 電池/メモリーカードカバーを開けて、メモリーカードや電池を脱着する
 - カメラの電源を OFF にする
 - ACアダプターを外す

お手入れ方法

クリーニングについて

アルコール、シンナーなど揮発性の薬品は使わないでください。

レンズ/電子ビューファインダー

ガラス部分をクリーニングするときは、手で直接触らないようご注意ください。ゴミやホコリはブローアードで吹き払ってください。ブローアードで落ちない指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布やメガネ拭きなどでガラス部分の中央から外側に円を描くようにゆっくりと拭き取ってください。強く拭いたり、硬いもので拭いたりすると、破損や故障の原因になることがあります。汚れが取れないときは、レンズクリーナー液（市販）で湿らせた柔らかい布で軽く拭いてください。

液晶モニター

ゴミやホコリはブローアードで吹き払ってください。指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布やメガネ拭きなどで軽く拭き取ってください。強く拭いたり、硬いもので拭いたりすると、破損や故障の原因になることがあります。

カメラボディ

- ・ ゴミやホコリはブローアードで吹き払ってください。乾いた柔らかい布などで軽く拭いてください。
- ・ 海辺などでカメラを使った後は、真水で湿らせてよく絞った柔らかい布で砂や塩分を軽く拭き取った後、よく乾かしてください。

ご注意：カメラ内部にゴミ、ホコリや砂などが入りこむと故障の原因になります。この場合、当社の保証の対象外になります。

保管について

カメラを長期間お使いにならないときは、電池を取り出してください。また、カビや故障を防ぎ、カメラを長期にわたってお使いいただけるように、「月に一度」を目安に電池を入れ、カメラを操作するようおすすめします。カメラを以下の場所に保管しないようご注意ください。

- ・ 換気の悪い場所や湿度が60%を超える場所
- ・ 温度が50℃以上、または-10℃以下の場所
- ・ テレビやラジオなど強い電磁波を出す装置の周辺

電池の保管は、「取り扱い上のご注意」の「電池について」の「● 保管について」（※4）をお守りください。

故障かな？と思ったら

カメラの動作がおかしいとお感じになったときは、ご購入店やニコンサービス機関にお問い合わせいただく前に、以下の項目をご確認ください。

電源・表示・設定関連


こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
電源ONの状態で、カメラの操作ができない	<ul style="list-style-type: none"> 画像や動画の記録などの処理が終わるまでお待ちください。 操作できない状態が続くときは、電源をOFFにする操作をしてください。電源がOFFにならない場合は、電池を入れ直してください。 ACアダプター使用時は付け直してください。 <ul style="list-style-type: none"> 記録中であったデータは保存されません。 保存済みのデータは電池やACアダプターの取り外しでは失われません。 	—
電源をONにできない	電池残量がありません。	10、11、 🔍3
カメラの電源が突然切れる	<ul style="list-style-type: none"> オートパワーオフ機能が働きました。 低温下ではカメラや電池が正常に動作しないことがあります。 カメラの内部が高温になっています。温度が下がるまでしばらく放置してから電源を入れ直してください。 	18 🔍3 —
液晶モニター/電子ビューファインダーに何も映らない	<ul style="list-style-type: none"> 電源が入っていません。 電池残量がありません。 オートパワーオフ機能が働きました。 液晶モニターと電子ビューファインダーは同時に点灯しません。液晶モニターと電子ビューファインダーの切り換えに時間がかかることがあります。 カメラがテレビまたはパソコンと接続されています。 インターバル撮影中、またはタイムラプス動画撮影中です。 カメラとスマートデバイスをWi-Fi接続して、カメラをリモート操作中です。 	14 16 18 — — —
カメラの温度が高くなる	動画撮影などで長時間使ったり、周囲の温度が高い場所で使ったりすると、カメラの温度が高くなる場合がありますが、故障ではありません。	—

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
カメラ内の電池を充電できない	<ul style="list-style-type: none"> プラグの接続状態を確認してください。 パソコンで充電するときは、以下の原因が考えられます。 <ul style="list-style-type: none"> セットアップメニュー[パソコン接続充電]が[しない]になっています。 カメラの電源をOFFにすると、電池の充電は中止されます。 カメラの表示言語と日時を設定していないときや、時計用電池が切れて日時がリセットされたときは充電できません。本体充電ACアダプターで充電してください。 パソコンが休止状態(スリープ状態)になると、充電が中止されることがあります。 パソコンの仕様、設定または状態によっては、充電できないことがあります。 	11 49、57 — 14、15 — —
モニター画面がよく見えない	<ul style="list-style-type: none"> 周囲の光が明るすぎます。暗い場所に移動するか、電子ビューファインダーをお使いください。 モニター画面の明るさを調節してください。 モニター画面が汚れています。 	19 49、57 🔍6
電子ビューファインダー内がはっきり見えない	視度調節ダイヤルで調節してください。	19
画面で🔍が点滅する	<ul style="list-style-type: none"> 内蔵時計の日時を設定しないと、撮影画面で🔍が点滅し、静止画の撮影日時が「0000/00/00 00:00」、動画の撮影日時が「2015/01/01 00:00」と記録されます。セットアップメニュー[地域と日時]で日時を正しく設定してください。 	5、57
撮影日時が正しく表示されない	<ul style="list-style-type: none"> 内蔵時計は腕時計などの一般的な時計ほど精度は高くありません。定期的に日時の設定を行うことをおすすめします。 	
撮影情報や画像情報が表示されない	撮影情報、画像情報を非表示にしている可能性があります。情報が表示されるまで、DISPボタンを押してください。	3
[日付写し込み]が選べない	セットアップメニュー[地域と日時]が設定されていません。	49、57
[日付写し込み]を有効にしたのに、日付が写し込まれない	<ul style="list-style-type: none"> 日付を写し込めない撮影モードになっています。 日付写し込みが制限される他の機能の設定がされています。 動画には写し込みできません。 	49、57 46 —


こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
電源を入れると地域と日時の設定画面が表示される 設定内容が初期状態に戻ってしまった	時計用電池が切れたため、設定がリセットされました。	15、🔧8
[連番リセット]ができない	連番リセットなどを行うと、メモリーカード内に新しい記録用フォルダーが作成されますが、フォルダー名の連番（カメラでは表示できません）が上限（999）に達するとリセットできません。メモリーカードを交換するか、メモリーカードを初期化してください。	49、58
カメラから音がする	[AFモード]の[常時AF]時や、選んだ撮影モードによっては、オートフォーカスの動作音が聞こえることがあります。	24、49、52、54

撮影関連


こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
撮影モードにできない	HDMIケーブルまたはUSBケーブルを外してください。	61
撮影できない	<ul style="list-style-type: none"> 再生モードになっているときは、▶ ボタン、シャッターボタンまたは●(🔴) ボタンを押してください。 メニューが表示されているときは、MENU ボタンを押してください。 シーンモードが[夜景ポートレート]または[逆光]の[HDR]が[しない]のときは、フラッシュをポップアップしてください。 🔍の点滅中は、フラッシュの充電中です。 電池残量がありません。 残量のあるメモリーカードを入れてください。 	1、22 50 18 36 10、11、🔧3 -

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
ピントが合わない	<ul style="list-style-type: none"> 被写体との距離が近すぎます。シーンモードの [おまかせシーン]、[クローズアップ]、またはフォーカスモードのマクロ AF での撮影をお試しください。 フォーカスモードの設定が合っていません。設定を確認または変更してください。 オートフォーカスが苦手な被写体を撮影しています。 セットアップメニュー [AF 補助光] を [オート] にしてください。 シャッターボタンを半押ししたときに、被写体が AF エリア内に入っていません。 フォーカスモードが MF (マニュアルフォーカス) になっています。 電源を入れ直してください。 	24、25、40 40、41 — 49、57 17、49、52 40、42 —
撮影時の画面に色の付いた縞模様が発生する	<p>同じパターンを繰り返す被写体 (窓のブラインドなど) に色の付いた縞模様 (干渉縞、モアレ) が現れることがありますが、故障ではありません。</p> <p>記録される画像、動画にこの現象は残りません。ただし、[高速連写 120 fps] と [HS 480/4 倍] では、記録される画像、動画にこの現象が残ることがあります。</p>	—
画像がぶれる	<ul style="list-style-type: none"> フラッシュを使ってください。 手ブレ補正機能を使ってください。 BSS (ベストショットセレクト) を使ってください。 三脚などでカメラを安定させてください (セルフタイマーを併用すると、より効果的です)。 	18、36 49、57 49、52 38
フラッシュ撮影時に、画像に白い点が入り込む	<p>フラッシュの光が空気中のほこりなどに反射して写り込んでいます。フラッシュを閉じて、フラッシュモードを  (発光禁止) にしてください。</p>	36
フラッシュが発光しない	<ul style="list-style-type: none"> フラッシュが発光しない撮影モードです。 フラッシュが制限される他の機能の設定がされています。 	— 46
電子ズームが使えない	<ul style="list-style-type: none"> セットアップメニュー [電子ズーム] が [しない] になっています。 撮影モードや他の機能の設定によっては電子ズームが使えません。 	49、57 48、57

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
[画像サイズ]が選べない	<ul style="list-style-type: none"> ・ [画像サイズ]が制限される他の機能の設定がされています。 ・ シーンモードが [かんたんパノラマ] のときは、画像サイズが固定されます。 	46 —
シャッター音が鳴らない	セットアップメニュー [操作音] の [シャッター音] が [なし] になっています。 [あり] にしていても、撮影モードや設定によってはシャッター音が鳴りません。	46、49、57
AF 補助光が点灯しない	セットアップメニュー [AF補助光] が [なし] になっています。 [オート] に設定していても、AFエリアの位置やシーンモードによっては点灯しない場合があります。	49、57
画像が鮮明でない	レンズが汚れています。	🔍6
画像の色合いが不自然になる	適切なホワイトバランスまたは色合いが選ばれていません。	49、51
画像がざらつく	被写体が暗いため、シャッタースピードが遅くなっているか、ISO感度が高くなっています。 <ul style="list-style-type: none"> ・ フラッシュを使ってください。 ・ 低いISO感度にしてください。 	18、36 49、52
多重露出時に画像に白い点が発生する	多重露出時にシャッタースピードが遅い場合、記録した画像にノイズ (白い点) が目立つことがあります。	—
画像が暗すぎる (露出アンダー)	<ul style="list-style-type: none"> ・ フラッシュが指などでさえぎられています。 ・ 被写体にフラッシュの光が届いていません。 ・ 露出を補正してください。 ・ ISO感度を上げてください。 ・ 逆光で撮影しています。フラッシュをポップアップするか、シーンモードの [逆光] の [HDR] を [しない] にしてください。 	16 🔍18 44 49、52 18
画像が明るすぎる (露出オーバー)	露出を補正してください。	44
赤目以外の部分が補正された	[夜景ポートレート] 以外の撮影モードで、フラッシュモードを🔦🔦 (赤目軽減自動発光/赤目軽減発光) 以外にして撮影してください。	36
美肌の効果が得られない	<ul style="list-style-type: none"> ・ 撮影条件によっては、美肌効果が適切に得られないことがあります。 ・ 4人以上の顔を撮影した画像は、再生メニュー [美肌] をお試しください。 	— 49、55

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
画像の記録に時間がかかる	<p>以下の場合、画像の記録に時間がかかることがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ノイズ低減機能が作動したとき • フラッシュを  (赤目軽減自動発光 / 赤目軽減発光) にして撮影したとき • 以下のシーンモードで撮影したとき <ul style="list-style-type: none"> - [夜景] の [手持ち撮影] - [風景]、[クローズアップ] の [連写NR撮影] - [逆光] ([HDR] を [する] に設定したとき) - [かんたんパノラマ] • 撮影メニュー [連写] が [高速連写 120 fps] または [高速連写 60 fps] のとき • 笑顔自動シャッターで撮影したとき • アクティブ D- ライティング機能で撮影したとき • 多重露出機能で撮影したとき 	<p>—</p> <p>37</p> <p>—</p> <p>49、52</p> <p>39</p> <p>49、52</p> <p>49、52</p>
画面や撮影画像にリング状の帯や虹色の縞模様が見える	<p>逆光撮影や、太陽などの非常に強い光源が画面内にある撮影では、リング状の帯や虹色の縞模様 (ゴースト) などが写し込まれることがあります。</p> <p>光源の位置を変えるか、光源を画面内に入れずに撮影をお試しください。</p>	—
設定が選べない/選んだ設定が有効にならない	<ul style="list-style-type: none"> • 撮影モードによっては、選べない項目があります。選べないメニューはグレーで表示されます。 • 選んだ機能が制限される他の機能の設定がされています。 	<p>49</p> <p>—</p>


再生関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	
再生できない	<ul style="list-style-type: none"> このカメラ以外で記録した画像は、再生できないことがあります。 パソコンで加工したデータは、再生できないことがあります。 インターバル撮影中は再生できません。 	<p>—</p> <p>—</p> <p>49、52</p>
画像の拡大表示ができない	<ul style="list-style-type: none"> 動画は拡大表示できません。 このカメラ以外で撮影した画像は、拡大できないことがあります。 画像サイズの小さい画像は、画面の倍率表示と画像の拡大率が一致しないことがあります。 	—
画像編集ができない	<ul style="list-style-type: none"> 画像によっては編集できません。編集で作成した画像は、再編集できないことがあります。 メモリーカードに空き容量がありません。 このカメラ以外で撮影した画像は編集できません。 動画は、画像編集できません。 	—
画像を回転できない	このカメラ以外で撮影した画像は回転できません。	—
画像がテレビに映らない	<ul style="list-style-type: none"> パソコンまたはプリンターがカメラに接続されています。 メモリーカードに画像が記録されていません。 	—
カメラをパソコンに接続しても、Nikon Transfer 2 が自動起動しない	<ul style="list-style-type: none"> カメラの電源が OFF になっています。 電池残量がありません。 USB ケーブルが正しく接続されていません。 パソコンにカメラが正しく認識されていません。 Nikon Transfer 2 が自動起動しない設定になっています。Nikon Transfer 2 については、ViewNX-i のヘルプをご参照ください。 	<p>—</p> <p>49、57、61、61</p> <p>—</p> <p>—</p>
カメラをプリンターに接続しても、PictBridge 画面が表示されない	PictBridge 対応プリンターの種類によっては、セットアップメニュー [パソコン接続充電] を [オート] に設定していると、PictBridge 画面が表示されず、プリントできない場合があります。[パソコン接続充電] を [しない] にしてプリンターに接続し直してください。	49、57
プリントする画像が表示されない	メモリーカードに画像が記録されていません。	—

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
カメラ側で用紙設定ができない	PictBridge対応プリンターでも、以下の場合はカメラで「用紙設定」ができません。プリンター側で用紙サイズを設定してください。 <ul style="list-style-type: none"> カメラ側で設定した用紙サイズにプリンターが対応していません。 自動的に用紙サイズを認識するプリンターを使っています。 	—

位置情報機能関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
測位できない、測位に時間がかかる	<ul style="list-style-type: none"> 撮影する環境によって、測位できないことがあります。位置情報機能を使うときは、できるだけ空のひらけた場所でお使いください。 はじめて測位したときや、測位できない状態が約2時間経過したときは、位置情報を取得するまで数分かかります。 	—
撮影した画像に位置情報が記録されない	撮影時の画面に📷や📷が表示されているときは位置情報が記録されません。撮影前に位置情報受信状態を確認してください。	59
撮影した場所と記録した位置情報に誤差がある	撮影する環境によって、測位に誤差が生じることがあります。測位衛星からの電波の誤差が大きい場合、最大で数百メートルの誤差を生じることがあります。	—
記録された地名情報が意図したものと違う、または表示されない	希望のランドマーク名が登録されていないか、ランドマーク名が異なる場合があります。	—
A-GPSファイルが更新できない	<ul style="list-style-type: none"> 以下のことを確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> - メモリーカードが入っているか - メモリーカード内にA-GPSファイルが入っているか - メモリーカード内のA-GPSファイルがカメラ内のA-GPSファイルより新しいか - 有効期限が切れていないか A-GPSファイルが壊れている可能性があります。ウェブサイトからダウンロードし直してください。 	—
位置情報設定メニューの「ログ取得」が選べない	カメラの時計が設定されていません。日付と時刻を設定してください。	49、57

こんなときは	考えられる原因や対処法	
[ログ取得開始]が 選べない	<ul style="list-style-type: none"> • 位置情報設定メニューの [位置情報記録機能] が [しない] になっています。 • ログ取得中です。新しくログを取得するときは、[ログ取得終了] を選び、取得中のログを終了してください。 	49 —
ログデータを保存 できない	<ul style="list-style-type: none"> • メモリーカードが入っているか確認してください。 • 記録できるログデータの数は、1日に36件までです。 • ログを取得できていません。 • 1枚のメモリーカードに保存できるログデータは、最大100件までです。不要なログデータをメモリーカードから削除するか、新しいメモリーカードに交換してください。 	— — — 49

主な仕様

ニコン デジタルカメラCOOLPIX P900

型式	コンパクトデジタルカメラ
有効画素数	1605万画素（画像処理で減少することがあります）
撮像素子	1/2.3型 原色CMOS、総画素数1676万画素
レンズ	光学83倍ズーム、NIKKORレンズ
焦点距離	4.3-35.7 mm (35mm判換算24-2000 mm相当の撮影画角)
開放F値	f/2.8-6.5
レンズ構成	12群16枚 (EDレンズ5枚、スーパーEDレンズ1枚)
電子ズーム倍率	最大4倍 (35mm判換算で約8000 mm相当の撮影画角)
手ブレ補正機能	レンズシフト方式（静止画） レンズシフト方式と電子式の併用（動画）
オートフォーカス	コントラスト検出方式
撮影距離範囲	<ul style="list-style-type: none">・ 先端レンズ面中央から約 50 cm ~ ∞（広角側）、約 5.0 m ~ ∞（望遠側）・ マクロ AF 時は先端レンズ面中央から約 1 cm ~ ∞（広角側）
AFエリア	ターゲットファインドAF、顔認識オート、マニュアル（スポット）、マニュアル（標準）、マニュアル（ワイド）、ターゲット追尾
ファインダー	電子ビューファインダー、0.2型液晶、約92万ドット、視度調節機能付き（ $-3 \sim +1 \text{ m}^{-1}$ ）
視野率（撮影時）	上下左右とも約100%（対実画面）
視野率（再生時）	上下左右とも約100%（対実画面）
画像モニター	広視野角3型TFT液晶モニター、反射防止コート付き、約92万ドット（RGBW）、輝度調節機能付き（6段階）
バリアングル方式	バリアングル方式
視野率（撮影時）	上下左右とも約100%（対実画面）
視野率（再生時）	上下左右とも約100%（対実画面）

記録方式	
記録媒体	SD/SDHC/SDXC メモリーカード
対応規格	DCF、Exif 2.3 準拠
ファイル形式	静止画：JPEG 動画：MOV（映像：H.264/MPEG-4 AVC、音声：LPCMステレオ）
記録画素数 （画像サイズ）	<ul style="list-style-type: none"> • 16 M [4608×3456] • 8 M [3264×2448] • 4 M [2272×1704] • 2 M [1600×1200] • VGA [640×480] • 16:9 12M [4608×2592] • 16:9 2M [1920×1080] • 3:2 14M [4608×3072] • 1:1 12M [3456×3456]
ISO感度（標準出力感度）	<ul style="list-style-type: none"> • ISO 100 ~ 1600 • ISO 3200、6400（P、S、A、M モード時に設定可能） • Hi 1（ISO 12800 相当）（スペシャルエフェクトの [高感度モノクロ] 時）
露出	
測光モード	マルチパターン測光、中央部重点測光、スポット測光
露出制御	プログラムオート（プログラムシフト可能）、シャッター優先オート、絞り優先オート、マニュアル露出、AEブラケティング可能、露出補正（±2段の範囲で1/3段刻み）可能
シャッター方式	メカニカルシャッターとCMOS電子シャッターの併用
シャッタースピード	<ul style="list-style-type: none"> • 1/4000[※] ~ 1 秒 • 1/4000[※] ~ 15 秒（M モードで ISO 100 時） ※ 広角側、f/8時
絞り	電磁駆動による6枚羽根虹彩絞り
制御段数	10（1/3 EVステップ）（広角側）（ A 、 M モード）
セルフタイマー	10秒、2秒

フラッシュ	
調光範囲 (ISO感度設定オート時)	約0.5～11.5 m (広角側) 約5.0～7.0 m (望遠側)
調光方式	モニター発光によるTTL自動調光
調光補正	範囲 -2～+2段、補正ステップ 1/3ステップ
外部インターフェース	
USB端子	Micro-USB端子(付属のUC-E21以外のUSBケーブルは使わないでください)、Hi-Speed USB ・ダイレクトプリント (PictBridge) 対応
HDMI出力端子	HDMIマイクロ端子 (Type D)
Wi-Fi (無線LAN)	
準拠規格	IEEE 802.11b/g/n (無線LAN標準プロトコル)
通信距離	約10 m
使用周波数範囲 (中心周波数)	2412～2462 MHz (1～11 ch)
認証方式	オープンシステム、WPA2-PSK
アクセス方式	インフラストラクチャーモード
位置情報機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ GPS: 受信周波数: 1575.42 MHz、測地系: WGS 84 ・ GLONASS: 受信周波数: 1598.0625 MHz～1605.3750 MHz、測地系: WGS 84
表示言語	日本語、英語
電源	Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL23 (リチウムイオン充電電池: 付属) ×1個 ACアダプター EH-67A (別売)
充電時間	約3時間40分 (本体充電ACアダプター EH-71P/ EH-73P使用時、残量のない状態からの充電時間)
電池寿命※1	
静止画撮影時	約360コマ (EN-EL23使用時)
動画撮影時 (実撮影電池寿命) ※2	約1時間20分 (EN-EL23使用時)
三脚ネジ穴	1/4 (ISO 1222)
寸法 (幅×高さ×奥行き)	約139.5×103.2×137.4 mm (突起部除く)
質量	約899 g (電池、メモリーカード含む)

動作環境

使用温度	0℃～40℃
使用湿度	85%以下（結露しないこと）

- ・仕様中のデータは特に記載のある場合を除き、CIPA（カメラ映像機器工業会）規格による温度条件23℃（±3℃）で、フル充電電池使用時のものです。
- ※1 電池寿命は、撮影間隔、メニュー表示時間、画像表示時間などの使用状況によって異なります。
- ※2 動画の連続撮影可能時間（1回の撮影で記録可能な時間）は、メモリーカードの残量が多いときでもファイルサイズ4 GBまで、または最長29分までです。カメラが熱くなった場合、連続撮影可能時間内でも動画撮影が終了することがあります。

Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL23

形式	リチウムイオン充電電池
定格容量	DC 3.8 V、1850 mAh
使用温度	0℃～40℃
寸法（幅×高さ×奥行き）	約34.9×47×10.5 mm
質量	約34 g

本体充電ACアダプター EH-71P/EH-73P

電源	
EH-71P	AC 100～240 V、50/60 Hz、MAX 0.2 A
EH-73P	AC 100～240 V、50/60 Hz、MAX 0.14 A
定格入力容量	
EH-71P	10.5～15.5 VA
EH-73P	12～18 VA
定格出力	DC 5.0 V、1.0 A
使用温度	0℃～40℃
寸法（幅×高さ×奥行き）	約55×22×54 mm
質量	
EH-71P	約48 g
EH-73P	約51 g

製品に表示されている記号の意味は下記の通りです。
～ AC（交流）、≡ DC（直流）、回 クラスⅡ機器（二重絶縁構造）

- ・説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- ・製品の外観、仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

使用できるメモリーカード

SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、およびSDXCメモリーカードが使用できます。

- 動画の撮影には、SDスピードクラスがClass 6以上のメモリーカードをおすすめします。転送速度が遅いメモリーカードでは、動画の撮影が途中で終了することがあります。
- カードリーダーなどをお使いの場合は、お使いのメモリーカードに対応していることをご確認ください。
- メモリーカードの機能、動作の詳細、動作保証などについては、各カードメーカーにお問い合わせください。

商標説明

- Windowsは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac、OS XおよびmacOSは、Apple Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Adobe、Adobe ロゴ、Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の商標、または特定地域における同社の登録商標です。
- SDXC、SDHC、SDロゴはSD-3C, LLCの商標です。



- PictBridgeロゴは商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。

HDMI

- Wi-FiおよびWi-Fiロゴは、Wi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- AndroidとGoogle Playは、Google Inc.の商標または登録商標です。
- Nマークは米国およびその他の国におけるNFC Forum, Inc.の商標または登録商標です。
- その他の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。

AVC Patent Portfolio Licenseに関するお知らせ

本製品は、お客様が個人使用かつ非営利目的で次の行為を行うために使用される場合に限り、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされているものです。

(i) AVC規格に従い動画をエンコードすること（以下、エンコードしたものをAVCビデオといいます）

(ii) 個人利用かつ非営利目的の消費者によりエンコードされたAVCビデオ、またはAVCビデオを供給することについてライセンスを受けている供給者から入手したAVCビデオをデコードすること

上記以外の使用については、黙示のライセンスを含め、いかなるライセンスも許諾されていません。

詳細情報につきましては、MPEG LA, LLCから取得することができます。

<http://www.mpegla.com>をご参照ください。

FreeType License (FreeType2)

本製品のソフトウェアの著作権の一部は、©2012 The FreeType Project (<http://www.freetype.org>) のものです。すべての権利はその所有者に帰属します。

MIT License (HarfBuzz)

本製品のソフトウェアの著作権の一部は、©2015 The HarfBuzz Project (<http://www.freedesktop.org/wiki/Software/HarfBuzz>) のものです。すべての権利はその所有者に帰属します。

地名情報データ使用許諾契約書

COOLPIX P900（以下「本製品」という）に搭載されている地名情報データ（以下「本データ」という）は、次の条件で、ご使用頂けます。

データ使用許諾契約書

1. 個人使用限定

株式会社ニコン（以下「ニコン」という）又はニコンのライセンサーは、本データの著作権及びお客様への使用許諾に必要な一切の諸権利を保有しています。ニコンは、お客様に対して、本データについて、使用許諾を与えられた個人的かつ非商用の目的のためにのみ、本製品及び本製品で撮影された画像データと共に使用する権利を許諾します。本データは、使用権を許諾されるものであり、販売されるものではありません。

2. 禁止事項

お客様は、次に記載する行為を行ってはなりません。

- (1) サービス業務、タイムシェアリング、又はこれらに類する目的で使用する事。
- (2) インストール若しくは接続された、又は車両と通信する製品、システム若しくはアプリケーションで、車両のナビゲーション、測位、配車、リアルタイムの経路誘導、フリート管理若しくはこれらに類する機能があるものと本データを併用すること。
- (3) 測位装置、又はモバイルやワイヤレス接続の電子装置やコンピュータ装置と併用すること、若しくはこれらの装置との通信に使用すること。対象装置には、携帯電話、パームトップコンピュータ、ハンドヘルドコンピュータ、ポケットベル、携帯情報端末（PDA）が含まれますが、これらに限定されるものではありません。
- (4) 本データ使用許諾契約により許諾された範囲を超えて、本データの全部又は一部を媒体の如何を問わず複製すること。
- (5) 本データを変更、改変、リバース・エンジニアリング、逆コンパイル又は逆アセンブル等すること。
- (6) 法律で認められている場合を除き、本データを販売、譲渡、頒布もしくは再使用許諾等すること、又はネットワーク上にアップロードすること。
- (7) 本データ及びこれに関連する物を直接又は間接に輸出すること。
- (8) その他、本データ使用許諾契約により許諾されている以外のことを行うこと。

3. 警告

時間の経過、状況の変化、使用した情報源、包括的な地理データの収集という性質などは、いずれも不正確な情報の原因になる可能性があるため、本データには不正確又は不完全な情報が含まれているおそれがあります。

4. 著作権及びその他の知的財産権

本データは、日本国著作権法、その他の国の著作権法及び国際条約の規定により保護されています。お客様は、本データに含まれる著作権表示、商標又はその他の保護表示を除去してはなりません。

5. 免責

ニコン及びニコンのライセンサーは、お客様の本データの使用に関連して生じるお客様ご自身又は第三者の損害、その他の問題について、一切の責任を負いません。但し、法律に当該免責を認めない旨の定めのある場合はこの限りではありません。ニコン及びニコンのライセンサーは、本データの内容を随時変更する権利を留保します。

6. その他

本データ使用許諾契約は、日本国の法律に基づいて解釈されるものとし、本データ使用許諾契約に関する一切の紛争の管轄裁判所は東京地方裁判所とします。

Government End Users.

If the Data supplied by HERE is being acquired by or on behalf of the United States government or any other entity seeking or applying rights similar to those customarily claimed by the United States government, the Data is a "commercial item" as that term is defined at 48 C.F.R. ("FAR") 2.101, is licensed in accordance with the End-User Terms under which this Data was provided, and each copy of the Data delivered or otherwise furnished shall be marked and embedded as appropriate with the following "Notice of Use," and shall be treated in accordance with such Notice:

Notice of Use

Contractor (Manufacturer/ Supplier) Name: HERE

Contractor (Manufacturer/ Supplier) Address:

425 West Randolph Street, Chicago, Illinois 60606

This Data is a commercial item as defined in

FAR 2.101 and is subject to the End-User

Terms under which this Data was provided.

©2014 HERE - All rights reserved.

If the Contracting Officer, federal government agency, or any federal official refuses to use the legend provided herein, the Contracting Officer, federal government agency, or any federal official must notify HERE prior to seeking additional or alternative rights in the Data.

許諾ソフトウェアの権利者に関する表示

●地名情報データについて



本サービスは株式会社ゼンリンのPOI（位置情報）を使用しています。“ゼンリン”は株式会社ゼンリンの登録商標です。

© 2013 ZENRIN CO., LTD. All rights reserved.

●日本以外の地名情報データについて



© 1987-2014 HERE

All rights reserved.

Austria: © Bundesamt für Eich- und Vermessungswesen

Belgium: © - Distribution & Copyright CIRB

Croatia/Cyprus/Estonia/Latvia/Lithuania/Moldova/Poland/Slovenia/Ukraine: © EuroGeographics

Denmark: Contains data that is made available by the Danish Geodata Agency (FOT) Retrieved by HERE 01/2014

Finland: Contains data from the National Land Survey of Finland Topographic Database 06/2012. (Terms of Use available at http://www.maanmittauslaitos.fi/en/NLS_open_data_licence_version1_20120501).

Contains data that is made available by Itella in accordance with the terms available at http://www.itella.fi/liitteen/palvelutjatuotteet/yhteystietopalvelut/uusi_postal_code_services_service_description_and_terms_of_use.pdf. Retrieved by HERE 09/2013

France: source: © IGN 2009 – BD TOPO ®

Germany: Die Grundlagendaten wurden mit Genehmigung der zuständigen Behörden entnommen

Contains content of „BayrischeVermessungsverwaltung – www.geodaten.bayern.de“, licensed in accordance with <http://creativecommons.org/licenses/by/3.0/legalcode>

Contains content of “LGL, www.lgl-bw.de“, licensed in accordance with <http://creativecommons.org/licenses/by/3.0/legalcode>

Contains content of “Stadt Köln – offenedaten-koeln.de“, licensed in accordance with <http://creativecommons.org/licenses/by/3.0/legalcode>

Contains Content of “Geoportal Berlin / ATKIS® Basis-DLM“, licensed in accordance with <http://www.stadtentwicklung.berlin.de/geoinformation/download/nutzIII.pdf>

Contains Content of “Geoportal Berlin / Karte von Berlin 1:5000 (K5-Farbausgabe)“, licensed in accordance with <http://www.stadtentwicklung.berlin.de/geoinformation/download/nutzIII.pdf>

Great Britain: Contains Ordnance Survey data © Crown copyright and database right 2010

Contains Royal Mail data © Royal Mail copyright and database right 2010

Greece: Copyright Geomatics Ltd.

Italy: La Banca Dati Italiana è stata prodotta usando quale riferimento anche cartografia numerica ed al tratto prodotta e fornita dalla Regione Toscana.

Contains data from Trasporto Passeggeri Emilia-Romagna- S.p.A.

Includes content of Comune di Bologna licensed under <http://creativecommons.org/licenses/by/3.0/legalcode> and updated by licensee July 1, 2013.

Includes content of Comune di Cesena licensed under <http://creativecommons.org/licenses/by/3.0/legalcode> and updated by licensee July 1, 2013.

Includes contents of Ministero della Salute, and Regione Sicilia, licensed under <http://www.formez.it/iod/> and updated by licensee September 1, 2013.

Includes contents of Provincia di Enna, Comune di Torino, Comune di Pisa, Comune di Trapani, Comune di Vicenza, Regione Lombardia, Regione Umbria, licensed under <http://www.dati.gov.it/iod/2.0/> and updated by licensee September 1, 2013.

Includes content of GeoforUs, licensed in accordance with <http://creativecommons.org/licenses/by/3.0/legalcode>.

Includes content of Comune di Milano, licensed under <http://creativecommons.org/licenses/by/2.5/it/legalcode> and updated by licensee November 1, 2013.

Includes content of the "Comunità Montana della Carnia", licensed under <http://www.dati.gov.it/iod/2.0/> and updated by licensee December 1, 2013.

Includes content of "Agenzia per la mobilità" licensed under <http://creativecommons.org/licenses/by/3.0/legalcode> and updated by licensee January 1, 2014.

Includes content of Regione Sardegna, licensed under <http://www.dati.gov.it/iod/2.0/> and updated by licensee May 1, 2014.

Includes content of CISIS, licensed under <http://creativecommons.org/licenses/by/2.5/legalcode>.

Norway: Copyright © 2000; Norwegian Mapping Authority

Includes data under the Norwegian licence for Open Government data (NLOD), available at <http://data.norge.no/nlod/en/1.0>

Contains information copyrighted by © Kartverket, made available in accordance with <http://creativecommons.org/licenses/by/3.0/no/>.

Contains data under the Norwegian licence for Open Government data (NLOD) distributed by Norwegian Public Roads Administration (NPRA)

Portugal: Source: IgeoE – Portugal

Spain: Información geográfica propiedad del CNIG

Contains data that is made available by the Generalitat de Catalunya Government in accordance with the terms available at http://www.gencat.cat/web/eng/avis_legal.htm. Retrieved by HERE 05/2013.

Contains content of Centro Municipal de Informatica – Malaga, licensed in accordance with <http://creativecommons.org/licenses/by/3.0/legalcode>.

Contains content of Administración General de la Comunidad Autónoma de Euskadi, licensed in accordance with <http://creativecommons.org/licenses/by/3.0/legalcode>

Contains data made available by the Ayuntamiento de Santander, licensed in accordance with <http://creativecommons.org/licenses/by/3.0/es/legalcode.es>

Contains data of Ajuntament de Sabadell, licensed per <http://creativecommons.org/licenses/by/3.0/legalcode>, updated 4/2013

Sweden: Based upon electronic data © National Land Survey Sweden.

Contains public data, licensed under Go Open v1.0, available at <http://data.goteborg.se/goopen/Avtal%20GoOpen%201.0.0.pdf>

Switzerland: Topografische Grundlage: © Bundesamt für Landestopographie

United Kingdom: Contains public sector information licensed under the Open Government Licence v1.0 (see for the license <http://www.nationalarchives.gov.uk/doc/open-government-licence/>) Adapted from data from the office for National Statistics licensed under the Open Government Licence v.1.0

Canada: This data includes information taken with permission from Canadian authorities, including © Her Majesty, © Queen's Printer for Ontario, © Canada Post, GeoBase®, © Department of Natural Resources Canada. All rights reserved.

Mexico: Fuente: INEGI (Instituto Nacional de Estadística y Geografía.)

United States: ©United States Postal Service® 2013. Prices are not established, controlled or approved by the United States Postal Service®. The following trademarks and registrations are owned by the USPS: United States Postal Service, USPS, and ZIP+4. Includes data available from the U.S. Geological Survey.

Australia: Copyright. Based on data provided under license from PSMA Australia Limited (www.pasma.com.au).

Product incorporates data which is © 2013 Telstra Corporation Limited, Intelomatics Australia Pty Ltd and HERE International LLC.

Nepal: Copyright © Survey Department, Government of Nepal.

Sri Lanka: This product incorporates original source digital data obtained from the Survey Department of Sri Lanka

© 2009 Survey Department of Sri Lanka

The data has been used with the permission of the Survey Department of Sri Lanka

Israel: © Survey of Israel data source

Jordan: © Royal Jordanian Geographic Centre.

Mozambique: Certain Data for Mozambique provided by Cenacarta © 2013 by Cenacarta

Nicaragua: The Pacific Ocean and Caribbean Sea maritime borders have not been entirely defined. Northern land border defined by the natural course of the Coco River (also known as Segovia River or Wangki River) corresponds to the source of information available at the moment of its representation.

Réunion: source: © IGN 2009 - BD TOPO ®

Ecuador: INSTITUTO GEOGRAFICO MILITAR DEL ECUADRO
AUTORIZACION N° IGM-2011-01- PCO-01 DEL 25 DE ENERO DE 2011

Guadeloupe: source: © IGN 2009 - BD TOPO ®

Guatemala: Aprobado por el INSTITUTO GEOGRAFICO NACIONAL – Resolución del IGN No 186-2011

French Guiana: source: © IGN 2009 - BD TOPO ®

Martinique: source: © IGN 2009 - BD TOPO ®

索引


マーク・英数

📷 オート撮影モード	16、26
SCENE シーンモード	27
A 絞り優先オートモード	30、32
S シャッター優先オートモード	30、32
EFFECTS スペシャルエフェクトモード	28
🏞️ 風景モード	24
P プログラムオートモード	30、32
M マニュアル露出モード	30、32
🌃 夜景ポートレートモード	24
🌃 夜景モード	24
U ユーザーセッティングモード	34
Q 拡大表示	22
W 広角ズーム	20
🖼️ サムネイル表示	22
T 望遠ズーム	20
(📶) Wi-Fi ボタン	2、60
Ⓜ️ 決定ボタン	2
▶️ 再生ボタン	22
🗑️ 削除ボタン	23
● (📹 動画撮影) ボタン	21
DISP 表示切り換えボタン	3
Fn ファンクションボタン	45
⚡ フラッシュポップアップボタン	36
MENU メニューボタン	49、51、54、55、57
📺 モニターボタン	19
📷 セルフタイマー/リモコン/笑顔自動シャッター	25、38、39
📷 フォーカスモード	25、40
⚡ フラッシュモード	25、36
📷 露出補正	25、44
1 コマ表示	7、22
Active D- ライティング	52
AC アダプター	61
AE ブラケットティング	52
AF エリア	6、17




AF エリア選択	45、52
AF 表示	4、17
AF 補助光	57
AF モード	52、54
Av/Tv 操作切り換え	57
COOLPIX カスタムピクチャーコントロール	51
COOLPIX ピクチャーコントロール	45、51
CSM Picture Control	51
D- ライティング	55
EVF の自動切り換え	57
Fn ボタン設定	45
ISO 感度設定	45、52
Micro-USB 端子	11、61
M モード露出反映表示	53
PictBridge	62
Picture Control	45、51
POI 設定	59
USB ケーブル	11、62
User Setting 登録	35
User Setting リセット	35
ViewNX-i	62
Wi-Fi 設定	60
Wi-Fi 設定メニュー	49
Wi-Fi 送信画像の指定	55
Wi-Fi ボタン	2

ア

アイセンサー	2、19
赤目軽減自動発光	37
赤目軽減発光	37
アクティブ D- ライティング	52
位置情報設定	49
打ち上げ花火 🎆	27
笑顔自動シャッター	25、39
液晶モニター	3、13、6
遠景 AF	41
オートパワーオフ	18、57
オートフォーカス	52、54

オートフォーカスモード	52、54
おまかせシーン 	24

カ

カードなし時リリース	57
拡大表示	22
画質	45、51
風切り音低減	54
画像回転	55
画像サイズ	45、51
画像選択画面の操作方法	56
画面の明るさ	57
かんたんパノラマ 	27
簡単レタッチ	55
起動ポジション設定	53
逆光 	27
強制発光	37
記録可能コマ数	16
クイックバックズームボタン	2、21
組み合わせて使えない機能	46
クローズアップ 	27
クロスプロセス	28
言語 /Language	57
広角ズーム	20
光学ズーム	20
高感度モノクロ	28
格子線表示	6
硬調モノクローム	28
コマンドダイヤル	30
















サ



再生	22
再生メニュー	55
再生モード	22
サイドズームレバー	17
サイドズームレバー設定	57
削除	23
撮影	24
撮影情報	3
撮影メニュー	51
撮影モード	24、54
サマータイム	14
サムネイル表示	22

シーンモード	27
自動発光	37
視度調節ダイヤル	19
絞り値	30
絞り優先オートモード	30、32
シャッタースピード	30
シャッターボタン	17、21
シャッター優先オートモード	30、32
充電器	12
充電式バッテリー	11
充電ランプ	1、11
常時 AF	52、54
焦点距離	53、  16
初期化	10、57
シングル AF	52、54
ズーム	20
ズームマイク	54
ズームメモリー	53
ズームレバー	20
水準器表示	6
ストラップ取り付け部	9
スペシャルエフェクトモード	28
スポーツ 	27
スモールピクチャー	55
スライドショー	55
スローシンクロ	37
設定クリア	58
セットアップメニュー	57
セルフタイマー	25、38
セルフタイマーランプ	39、40
セレクトカラー	28
操作音	57
測位アンテナ部	2
測光方式	45、51
ソフト	28

タ

ダイナミックファインズーム	20
タイムゾーン	14
ダイレクトプリント	62
多重露出	52
端子カバー	1、11、61
単写	52

地域と日時	14、57	ピント	17
調光補正	52	フィルター効果	55
通常 AF	41	フォーカスモード	25、40
通常発光	37	フォーマット	57
月 	27	フラッシュ	36
手ブレ補正	45、57	フラッシュモード	25、36
テレビ	61	プリンター	61
電源	14	フレームレート設定	54
電源スイッチ	1、14	プログラムオートモード	30、32
電源ランプ	1、18	プロテクト設定	55
電子ズーム	20、57	ペット 	27
電子手ブレ補正	4、54	望遠ズーム	20
電子ビューファインダー	19、  6	ホワイトバランス	45、51
電池	10、  18	本体充電 AC アダプター	11、  19
電池残量	16	マ	
トーンレベル	8	マクロ AF	41
トーンレベルインフォメーション	3、8	マニュアルフォーカス	41、42
動画再生	22	マニュアル露出モード	30、32
動画撮影	21	マルチセクター	25
動画設定	54	ミュージアム 	27
動画メニュー	54	無限遠固定	41
鳥 	27	無線 LAN	60
ナ		メモリーカード	10、  5、  20
夏時間	14	メモリーカードの初期化	10、57
日時の設定	14、57	メモリー残量	16
ノイズ低減フィルター	52	モードダイヤル	16、24
ノスタルジックセピア	28	モニター設定	57
ハ		モノクロコピー 	27
バージョン情報	58	ヤ	
パーティー 	27	夜景ポートレートモード	27
ハイキー	28	夜景モード	27
パソコン	62	ユーザーセッティングモード	34
パソコン接続充電	57	夕焼け 	27
バッテリーチャージャー	12	雪 	27
半押し	17、21	ラ	
ピーキング	58	リアシンクロ	37
ヒストグラム	8、44、57	リチウムイオン充電電池	10、  19
日付写し込み	57	リモコン	25、38
日付のプリント	57	リモコン受光部 (別売リモコン ML-L3 用)	1、2
美肌	55	料理 	27

レディーライト.....	4、36
連写.....	45、52
連写グループ.....	23
連写グループ表示方法.....	55
連写の代表画像選択.....	56
レンズ.....	 6、  16
レンズキャップ.....	9
連番リセット.....	58
ローキー.....	28
ロータリーマルチセレクター.....	25
ログ取得.....	59
露出補正.....	25、44
露出モード.....	30



A series of horizontal dashed lines spanning the width of the page, intended for handwriting practice.



A series of horizontal dashed lines spanning the width of the page, intended for handwriting practice.

修理サービスのご案内

■修理のご依頼

ニコンサービス機関（修理センター、ニコンプラザサービスセンター）、ご購入店、または最寄りの販売店にご依頼ください。

※修理品をお預けいただく場合のご注意

- ボディーキャップやレンズキャップが付属している製品の場合は、製品保護のため、装着してお預けください。
- 修理に必要と思われるもの以外の付属品は、ご自身で保管ください。
- カメラなどの修理では、受付や修理の過程で撮影データをやむを得ず消去する場合があります。大切なデータは必ずバックアップをお取りください。

■インターネットでのお申込み

<http://www.nikon-image.com/support/repair/>

■修理センター

株式会社ニコンイメージングジャパン修理センター



修理センター ナビダイヤル

0570-02-8200

〒230-0052 横浜市鶴見区生麦2-2-26

営業時間：9：30～18：00（土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏期休業日など弊社定休日を除く毎日）

- 修理センターでは、「ニコンピックアップサービス」などの宅配便のみをお受けします。ご来所の方の受付はございません。ご了承ください。
- ナビダイヤルは一般電話からは市内通話料金でご利用いただけます。
- ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、ニコンカスタマーサポートセンター（03）6702-0577 におかけください。

■ニコンピックアップサービス

梱包資材のお届け・修理センターへのお引き取り、修理後のお届け・集金までをニコン指定の配送業者（ヤマト運輸）が一括して代行するサービスです。全国一律の料金にて承ります（大きさや重さには制限があり、取り扱いできない製品もあります）。

<http://www.nikon-image.com/support/repair/receipt/pickup/>



ニコンピックアップサービス専用 フリーダイヤル（ヤマト運輸にて承ります）

0120-02-8155

営業時間：9：00～18：00（年末年始 12/29～1/4 を除く毎日）

- ※上記フリーダイヤルは、ニコン指定の配送業者（ヤマト運輸）にて承ります。修理内容に関するお問い合わせは、修理センターへ、製品に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターへお願いします。

補修用性能部品と修理可能期間について

補修用性能部品（機能維持に必要な部品）の保有期間内（製造打ち切り後5年を目安）を、修理可能期間とさせていただきます。なお、部品保有期間の経過後も修理できる場合もありますので、ニコンサービス機関、ご購入店または最寄りの販売店にお問い合わせください。また、水没、火災、落下等による故障または破損で全損と認められる場合は、保有期間内であっても修理できません。この故障や破損の程度の判定は、ニコンサービス機関にお任せください。

ニコンプラザについて

ニコンプラザは、ショールーム、サービスセンター、ギャラリーを統合したニコン映像製品の総合情報拠点です。

※ニコンプラザサービスセンターでは持ち込み修理の受け付けも行っていません。



ニコンプラザショールーム ナビダイヤル

0570-02-8080



ニコンプラザサービスセンター ナビダイヤル

0570-02-8060

音声ガイダンスにしたがって、ご利用になるニコンプラザをお選びください。

- ナビダイヤルは一般電話からは市内通話料金でご利用いただけます。
- ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、ニコンカスタマーサポートセンター（03）6702-0577 におかけください。

ニコンプラザについては、当社ホームページの下記URLをご覧ください。

<http://www.nikon-image.com/support/showroom/>



<http://www.nikon-image.com/support/contact/>



ニコン カスタマーサポートセンター ナビダイヤル

0570-02-8000

営業時間：9：30～18：00（年末年始、夏期休業日等を除く毎日）

- ナビダイヤルは一般電話からは市内通話料金でご利用いただけます。
- ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、ニコンカスタマーサポートセンター（03）6702-0577 におかけください。
- ファクシミリは、（03）5977-7499 にお送りください。

お問い合わせ時のお願い

- おわかりになる範囲で「製品名」、「製品番号」、「ご購入日」、問題が発生した場合は「手順」、「現象（表示されたメッセージ）」、「発生頻度」などをご確認のうえ、お問い合わせください。

ニコンイメージングサポートページのご案内

<http://www.nikon-image.com/support/>

最新の製品テクニカル情報や、ソフトウェアのアップデート情報をご覧ください。製品をより有効にご利用いただくために、定期的なアクセスをおすすめします。



株式会社 **ニコン**

株式会社 **ニコン イメージング ジャパン**

Printed in Indonesia

FX8E07(10)

© 2015 Nikon Corporation

6MN49610-07